

取扱説明書

9V 型HD モニター/Bluetooth®/USB/チューナーDSPメインユニット

DMH-SF700

6.8V 型ワイドVGA モニター/Bluetooth®/USB/チューナーDSPメインユニット

DMH-SZ700

ご購入いただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
- ▶ 本書は製品のファームウェアバージョン 1.3 の動作・仕様に基づき作成しています。お使いの製品のファームウェアバージョンを確認し（→P52）、1.3 より新しいファームウェアをお使いの場合は、ファームウェアバージョン 1.3 以降の新機能・変更点を説明した取扱説明書を弊社ホームページからご確認ください。

<https://jpn.pioneer/ja/support/>

DMH-SF700

DMH-SZ700



■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。

登録は弊社ホームページ「オーナーズリンク」にて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。

<https://jpn.pioneer/ja/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をさせていただいたお客様にいたします。

必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

DIVX

Made for
iPhone




Dolby
AUDIO

carrozzeria




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

AV-005-001

接続・取り付け

警告



禁止

製品の前面や通風口を塞いだり、紙やフロアマット、布で覆わない
放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。



禁止

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

適合車種以外には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。適合車種については、販売店にお問い合わせください。

DC24V車では使用しない

本機はDC12V⊖アース車専用なので、DC24V車で使用すると火災や故障の原因となります。



禁止



強制

取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。

また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

説明書に従って接続・取り付ける

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと、事故の原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す
＋と－経路のショートにより、火災、感電やケガの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

付属の部品を使用し、固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油)などを取り除き、しっかりと取り付ける

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。



強制

モニター(タブレット)はハザードボタンやエアコン等のコントロールスイッチの操作、警告ランプや各種インジケータの視認を妨げないように取り付ける。

走行中の操作やランプの視認に支障があると交通事故の原因となります。

注意



禁止

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない

製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けない

落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類は途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない

断線やショートによる火災や感電の原因となります。



禁止

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けない

発煙や発火、故障の原因となります。



強制

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水が侵入しないように配線する

雨水が車内に侵入すると、火災や感電の原因となります。

使用方法

警告



禁止

本製品は電池を使用しています

- 電池の使用、保管中又は移動中に過度の高温又は低温にさらさない
- 火中若しくは熱した炉での電池の廃棄、又は電池の機械的な押潰し若しくは切断をしない

発熱・発火・破裂の原因となります。

電池を飲み込まないでください。
化学的反応による傷害の危険があります

この製品（この製品に付属または別売のリモートコントロール装置）は、コイン/ボタン型電池を含んでいます。コイン/ボタン型電池を飲み込むと、2時間足らずで重大な体内損傷を引き起こし、死に至ることがあります。新しい電池及び使用済みの電池は、子供の手の届かないところに保管してください。電池収納部がしっかりと閉まらない場合、製品の使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。

電池を飲み込んでしまった、又は電池を飲み込んだ疑いがある場合、直ちに医師の診断を受けてください。

電池は炎天下など高温の場所で放置をしない

発熱・発火・破裂の原因となります。

電池を火の中へ投入したり、火気に近づけたり、加熱したりしない

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護回路を損傷するだけでなく、漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

画面だけを見ながらの運転はしない

必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

液体で濡らさない

発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない

ケガや車両の変形および故障の原因となります。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

液漏れした電池には直接触らない

ケガや周囲を汚染する原因となります。万が一皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



分解禁止



強制

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

実際の交通規制に従って走行する

ルート案内が実際の交通規制に反している場合があり、交通事故の原因となります。

ヒューズを交換するときは、規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

夜間、トンネルなど暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整する

事故の原因となります。

注意



禁止

指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

本機は自動車用途以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となります。

本機の上に重いものを乗せたり、
乗ったりしない

落下させる、たたくなど、強い衝撃
を与えない

故障や火災の原因となります。

リモコンは、ダッシュボードなど直
射日光の当たる場所に放置しない

変形、電池の破裂、液もれの原因となります。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となりま
す。

可動部やメディア挿入口に手や指、
異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

スピーカーやアンプの放熱部に手
を触れない

やけどの原因となります。



接触禁止

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店かサー
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感
電の原因となります。

目次

はじめに.....9

安全走行のために.....	9
バッテリー上がりを防ぐために.....	9
本書について.....	9
CarAVAssist について.....	9

基本操作..... 10

各部の名称とはたらき.....	10
本体.....	10
リモコン.....	10
リモコンに電池を入れる.....	11
本機の電源について.....	11
Power OFF モードについて.....	11
デモモードについて.....	11
はじめて本体を使用する際の設定.....	11
スピーカーモード設定を変更する.....	12
スタンダードモードシステム例.....	12
ネットワークモードシステム例.....	12
共通のタッチキー.....	13
リスト画面の操作.....	13
タイムバーの操作.....	13
文字の入力.....	13
タッチパネルの基本操作.....	14
本機の画面について.....	14
ホーム画面.....	15
ウィジェットエリアをカスタマイズする.....	16
ウィジェットを入れ替える.....	16
お気に入りソース／アプリエリアを カスタマイズする.....	16
画面配置の変更.....	16
並び順の変更.....	16
表示アイコンの変更.....	17
お気に入り画面 (ラジオ).....	17
通知画面.....	17

Bluetooth® 18

対応する Bluetooth プロファイル.....	18
Bluetooth 接続できないときは.....	18
Bluetooth 機器を登録／接続する.....	18
2 台の機器を HFP 接続中のときの Bluetooth Audio 機器の接続.....	18
登録機器を削除する.....	18
Bluetooth の設定をする.....	19
Bluetooth 機器を切りかえる.....	20

ハンズフリー通話 21

Phone メニューを表示する.....	21
電話のかけかた.....	21
電話番号を入力して電話をかける.....	21
発着信履歴から電話をかける.....	21
電話帳から電話をかける.....	22
プリセットダイヤルから電話をかける.....	22
通話中の操作.....	23
2 台同時接続時の着信と受話.....	23
音声認識機能を使う.....	23
2 台同時接続時の音声認識操作.....	23
受話音量を調節する.....	24
電話の受けかた.....	24
着信音量を調節する.....	24
ハンズフリーエコー (残響音) が気になるときは.....	24

Bluetooth Audio操作 ... 25

Bluetooth Audio 設定.....	25
Bluetooth Audio 機器を再生する.....	25
リストから選んで再生する.....	26
Bluetooth Audio 機器の接続について.....	26
接続する Bluetooth Audio 機器を切りかえる.....	26
一時的に接続が切断された場合.....	26
Bluetooth Audio 機器が自動的に 接続されない場合.....	26

Wi-Fi® 接続 27

Wi-Fi 接続.....	27
マニュアル接続の場合.....	27
WPS 接続の場合.....	27
Wi-Fi の設定.....	27
アクセスポイントを設定する.....	28
通信サービス利用規約および プライバシーポリシーについて.....	28
同意／取消をおこなう.....	28

CarAVAssist 29

開始前の準備.....	29
CarAVAssist の機能について.....	29
データを転送する.....	29
ファームウェアを更新する.....	30

Browser 31

Browser 使用するまでの流れ.....	31
Browser を使う.....	31

ソース／アプリ 32

サポートするソースとアプリ.....	32
ソース／アプリリスト画面を表示／選択する...32	
ソース／アプリを表示する.....	32

ソース/アプリを選択する.....	32
ソース/アプリを並べ替える.....	33
ソース/アプリの共通操作.....	33

ラジオ 34

ラジオを聞く.....	34
バンドを切りかえる.....	34
放送局を選ぶ.....	34
マニュアル選局.....	34
プリセット選局.....	34
ラジオの放送局名を選ぶ.....	34
受信状態の良い放送局を自動で登録する.....	35
プリセットチャンネルを登録する.....	35
お気に入り画面 (ラジオ).....	35

交通情報 (TI)..... 35

USB..... 36

USB 機器を接続する.....	36
USB 機器を取り外す.....	36
USB 機器を利用する.....	36
オーディオソースを操作する.....	36
ミュージックブラウザモードで曲を選ぶ.....	37
動画/静止画ファイルを操作する.....	38

iPhone 40

Apple CarPlay操作..... 41

運転席位置を設定する.....	41
iPhone を接続する.....	41
音量調節.....	41

Android Auto™操作 42

運転席位置を設定する.....	42
スマートフォンを接続する.....	42
Android Auto を自動起動する.....	42
音量調節.....	42

Sports 43

Weather 43

Amazon Alexa 44

開始前に初期設定する.....	44
開始する.....	44
タッチ操作で開始する.....	44
発話で開始する.....	44
📶で開始する.....	44

Amazon エンターテイメントを利用する44

タッチ操作で開始する.....	44
発話で開始する.....	45
📶で開始する.....	45
電話機を操作する.....	45
電話機の連絡先をアップロードする.....	45
タッチ操作で開始する.....	46
発話で開始する.....	46
📶で開始する.....	46
Amazon Alexa の設定.....	46
本機の操作.....	47

HDMI® 48

開始する.....	48
基本操作.....	48





AUX 48

便利な機能..... 49

バックカメラを使う.....	49
バックカメラを設定する.....	49
バックカメラの入力を設定する.....	49
バックカメラの極性を設定する.....	49
駐車アシスト線の表示を設定する.....	49
駐車アシスト線を調整する.....	49
リアモニターを使う.....	50
リアモニターの設置場所について.....	50
ディマー設定をする.....	50
ディスプレイの明るさを調節する.....	50
昼夜でディマーを切りかえる.....	50
ディマーの切りかえ時間を設定する.....	50
カスタムメニューを使う.....	50
登録/削除する.....	50
登録したメニューを使う.....	50
ワイド画面の拡大方法を切りかえる.....	51
ステアリングリモコン設定.....	51
画像の画質を調整する.....	51
システム情報について.....	52
ソフトウェアのバージョンを調べる.....	52
ソフトウェアを更新する.....	52
学習ステータスを確認・削除する.....	52
リード線の接続を確認する.....	53
ライセンスを確認する.....	53

各種設定..... 54

設定画面を表示する.....	54
✕ システム設定.....	54
操作音を設定する.....	54
USB MTP を設定する.....	54
AUX 入力を設定する.....	54
デモモードを設定する.....	55
設定の初期化.....	55
時計の設定.....	55

 テーマ設定	55
壁紙を設定する	55
ボタンのイルミネーションを設定する	55
画面の色を変更する	56
時計のデザインを設定する	56
 オーディオ設定	56
前後左右の音量バランスを調節する	56
小さな音を聞きやすくする	56
各ソースの音量をそろえる	57
マスターサウンドリバンプを利用する	57
スピーカーの出力レベルを調整する	57
リスニングポジションを選ぶ	58
タイムアライメントを調整する	58
イコライザーを使う	58
サブウーファアのオン/オフを設定する	59
カットオフ周波数、スロープを設定する	59
低い音を強調する	60
リアスピーカー出力を設定する	60
ミュートを設定する	60
オーディオ設定を保存する	60
保存したオーディオ設定を読み出す	60
 ビデオ設定	61
 通信設定	61

接続・取り付け 62

接続・取り付け上のご注意	62
接続・取り付け部品を確認する	62
本体関係	62
コード関係	62
ネジ	62
接続の前に知ってほしいこと	63
接続上のご注意	63
接続のポイント	63
コネクタ着脱のポイント	63
システムの接続	64
電源コードの接続 (1)	66
電源コードの接続 (2)	68
外部アンプの接続	70
リアスピーカー出力にサブウーファアを	
接続する①	72
リアスピーカー出力にサブウーファアを	
接続する②	73
iPhone・スマートフォンの接続	74
iPhone を接続する場合	74
スマートフォンを接続する場合	75
取り付けの前に知ってほしいこと	76
取り付け上のご注意	76
取り付けのポイント	76
DMH-SF700 を取り付ける	77
DMH-SZ700 を取り付ける	79
GPS アンテナを取り付ける	80
取り付け上のご注意	80
取り付け例 (ダッシュボード上)	80

ハンズフリー通話用マイクを

取り付ける	81
取り付け上のご注意	81
サンバイザーにはさんで取り付ける場合	81
ステアリングポストに取り付ける場合	81
マイク角度の調節のしかた	81

動作を確認する 82

ディスプレイの角度と	
取り付け寸法 (SF700)	82
ディスプレイ取り付け寸法・調整可能な位置	83
ディスプレイ角度と上下位置	83
ディスプレイの角度調整範囲	84

付録 86

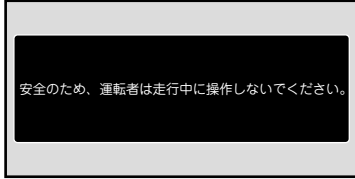
再生可能なメディアとファイルについて	86
メディア内のフォルダー構成について	90
JPEG ファイルについて	90
USB 機器について	91
本機との接続について	91
保管上のご注意	91
iPhone について	91
本機が対応する iPhone	91
液晶画面の正しい使いかた	92
取り扱い上のご注意	92
液晶画面について	92
LED バックライトについて	92
お手入れについて	92
電波に関するご注意	92
故障かな?と思ったら	93
共通項目	93
ラジオ	94
USB	94
iPhone	94
Bluetooth	95
こんなメッセージが表示されたら	95
共通項目	95
USB 機器	95
iPhone	96
保証書とアフターサービス	97
保証書	97
保証期間	97
修理について	97
補修用性能部品の最低保有期間	97
ご質問、ご相談は	97
商標・著作権など	98
用語解説	103
仕様	104

はじめに

安全走行のために

パーキングブレーキの ON/OFF を検知しており、走行中に映像を見ることができないようになっています。

走行中は次のようなメッセージが表示されます。



メッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

本機の操作は、安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

本書について

本書に掲載している画面は、実際の画面と異なる場合があります。

SF700	モデルにより異なる場合、対応するモデルを表します。
SZ700	

• 本書では、以下のマークを使って、説明していません。



操作手順の補足情報を表記しています。

• 本書では、Android™ OS 搭載の端末を「スマートフォン」と表記しています。

• 本書では「アプリケーションソフトウェア」を「アプリ」と表記しています。

• 本書では便宜上 Mass Storage Class で接続されている USB メモリーなどを USB メモリーと表記し、MTP 接続も含めて特に制限しない場合は USB または USB 機器と表記しています。

• 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。

• 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

• 本書では便宜上、iPhone を iPod と表記している場合があります。

• 本書では、iPhone またはスマートフォンを「電話機」と表記している場合があります。

• 本機に iPhone を接続した場合、ソース名は「iPod」と表示されますが、本機は iPod をサポートしていません。

サポートしている iPhone については、「本機が対応する iPhone」(→ P91) をご覧ください。

CarAVAssist について

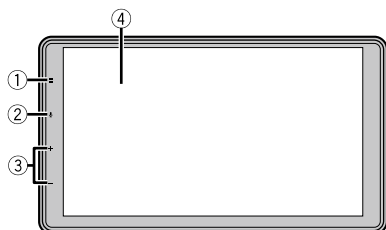
CarAVAssist を使うためには、iPhone やスマートフォンにアプリをインストールして本機と Bluetooth 接続する必要があります。

詳しくは「CarAVAssist」(→ P29) をご覧ください。

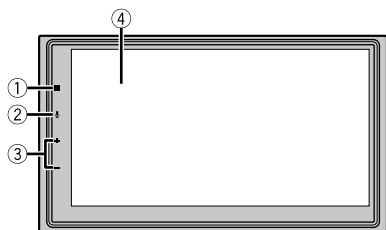
各部の名称とはたらき

■ 本体

SF700



SZ700



① ■ (ホーム) ボタン

ホーム画面を表示します (→ P15)。
ホーム画面表示中に押すと、直前に表示されていた AV ソース画面を表示します。
長く押すと、交通情報を受信します。もう一度長く押すと、TI ソース (交通情報) が OFF になります (→ P35)。

② 🗣️ (VR) ボタン

音声認識対応端末が Bluetooth または USB 経由で本機に接続されているときに押すと、音声認識機能が有効になります。
長く押すと、Bluetooth 接続可能な機器を検索して表示します。

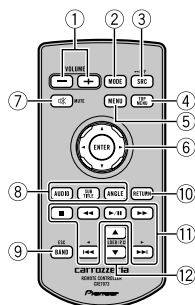
③ +/- (音量) ボタン

音量を調節します。

④ 画面

液晶画面です。

■ リモコン



① +/- VOLUME (音量) ボタン

音量を調節します。

② MODE ボタン

アプリ画面と AV 画面を切りかえます。
長く押すと、ディスプレイをオフにします。

③ SRC (ソース) ボタン

利用可能なソースを順番に表示します。
長く押すと、ソースをオフします。

④ 本機では使用しません。

⑤ 本機では使用しません。

⑥ 本機では使用しません。

⑦ MUTE (消音) ボタン

本機の音声をミュート (消音) します。

⑧ 本機では使用しません。

⑨ BAND/ESC ボタン

ラジオのバンドを切りかえます。
各機能の設定モードをキャンセルし、ホーム画面に戻ります。

⑩ 本機では使用しません。

⑪ ▶/⏸ (再生 / 一時停止) ボタン

■ (停止) ボタン

◀◀/▶▶ (早戻し / 早送り) ボタン

⏮/⏭ (スキップ) ボタン

⑫ ▲/▼ (FOLDER/P.CH) ボタン

前後のタイトルまたはフォルダーに移動します。
プリセットチャンネルキーに割り当てられたラジオ局の周波数を呼び出します。
電話に出る、または通話を終了します。

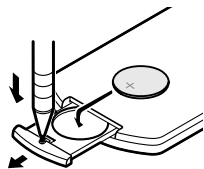
■ リモコンに電池を入れる

初めてお使いになるときは、電池ホルダーから出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。

リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

電池を交換する

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池（CR2025）を⊕側を上にしてセットします。



リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンを操作できないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ替えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従って処理してください。

本機の電源について

本機に電源ボタンはありません。車のエンジンスイッチを ON（ACC を ON）にすると自動的に電源が入り、エンジンスイッチを OFF にすると切れます。

■ Power OFF モードについて

ソースの選択画面で Power OFF を選ぶと、ほぼすべての機能が停止した状態になります。本体ボタンのいずれかを押しと Power OFF モードは解除されます。

以下の操作によっても解除されます。

- 車のシフトレバーを (R) にしてバックカメラを表示させたとき。
- 本機の電源を入れ直したとき (ACC OFF から ON にしたとき)。

■ デモモードについて

デモモードは、各ソースや本機の機能を表示する機能です。デモモードは、本機を初めて接続したとき、およびバッテリー交換後初めて車のエンジンスイッチを ON (ACC を ON) にしたときに表示されます。

エンジンスイッチを OFF (ACC を OFF) することで、設定はオフになります (→ P55)。



- 車のエンジンを止めた状態で、デモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。
- 運転中のデモモードは、前方不注意などの原因となる場合があります。運転中はデモモードを解除するか、設定をオフにしてください。

はじめて本体を使用する際の設定

1 エンジンスイッチをONにする

起動画面が数秒間表示され、初期起動時の設定画面が表示されます。

2 スピーカーモードを設定する

車の現在のスピーカー配置と接続方法に合わせてスピーカーモードを選択します。

スタンダードモード	フロント・リアの4スピーカーシステム、またはフロント・リア・サブウーファーの6スピーカーシステムを構築できます。
ネットワークモード	高・中・低音域のそれぞれの音域（バンド）を専用のアンプとスピーカーで再生する3-way マルチアンプ・マルチスピーカーシステムを構築できます。

接続方法については、P66、70 を参照してください。

3 [OK] にタッチする

免責画面が表示されます。

4 [OK] にタッチする

ホーム画面が表示されます (→ P15)。

スピーカーモード設定を変更する

スピーカーモード設定をセットした後は、工場出荷時の状態に戻さないと変更することはできません。変更する場合は設定初期化を実施してください(→P55)。

1 設定初期化を実施する

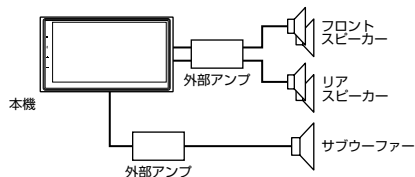
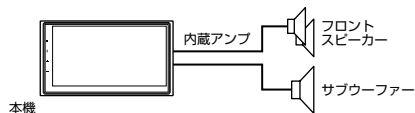
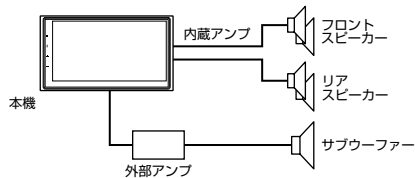
スピーカーモード設定をセットした後、実際の車のスピーカー構成などを変更してスピーカーモードを変更する必要があるときは初期化を実施して最初からやり直してください。

スピーカーモード設定時の注意

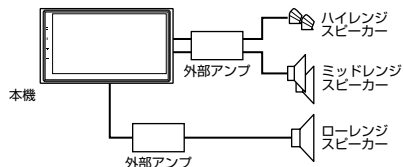
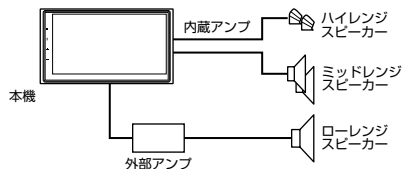
スピーカーモードを設定するときは、スピーカーシステムに合わせてスピーカーモードを選択してください。

- ネットワークモードに対応したスピーカーシステムを接続している場合は、スピーカーモードの設定をスタンダードモードに設定しないでください。スピーカーが破損する恐れがあります。

■ スタンダードモードシステム例






■ ネットワークモードシステム例



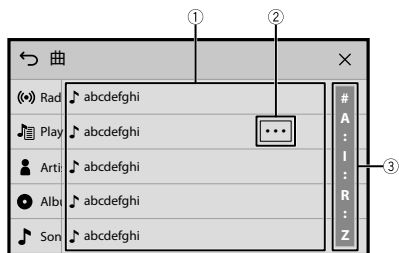
共通のタッチキー

設定画面などで表示される、すべての操作に共通のタッチキーです。

	画面を閉じます。
	前の画面に戻ります。  ・設定内容は保持されます。

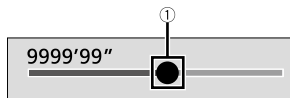
リスト画面の操作

本機では、機能や目的に応じてリスト画面が表示されます。



①	目的の項目にタッチします。
②	選んだ項目名を全文字表示します。
③	項目のインデックスです。タッチした文字の項目へ移動します。

タイムバーの操作



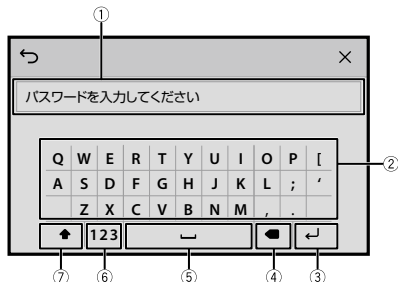
- ① カースルを再生したい時間までドラッグします。
カースルから指を離れた位置（時間）から再生されます。
再生時間は、タイムバーに合わせて表示します。

文字の入力

本機の文字入力は、QWERTY キーボード方式です。

文字にタッチして入力します。

フリック入力もできます。



- | | |
|---|------------------------------------|
| ① | 入力した文字を表示します。 |
| ② | タッチして文字を入力します。入力した文字は①のエリアに表示されます。 |
| ③ | 入力した文字を確定します。 |
| ④ | カースル左側の文字を 1 文字削除します。 |
| ⑤ | スペースを入力します。 |
| ⑥ | ひらがな／カタカナ／アルファベット／数字／記号を切りかえます。 |
| ⑦ | 大文字と小文字を切りかえます。 |

タッチパネルの基本操作

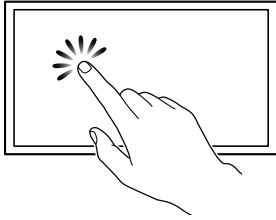
本機はタッチパネルを使って操作します。

・タッチパネルは指でタッチしてください。指以外でタッチすると、タッチパネルを傷つける恐れがあります。

本書では、以下の用語を使って画面の操作を説明しています。

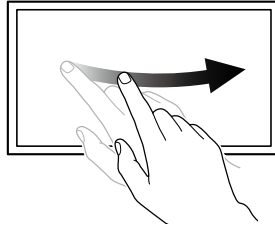
・タッチ

指で軽く目的の箇所をたたく操作です。



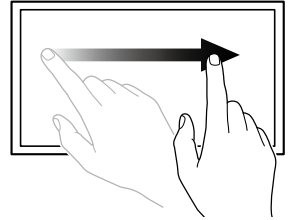
・スワイプ

指を画面に触れたまま、指を滑らせる操作です。



・ドラッグ

指を画面に触れたまま、目的の場所まで指をスライドする操作です。



本機の画面について

■ ボタンを押すとホーム画面が表示されます。ここから様々な画面にアクセスすることができます。ここでは、ホーム画面とホーム画面をスワイプして表示される画面について説明します。

通知画面

(→P17)



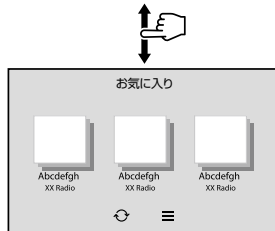
ホーム画面

(→P15~17)



ソース/アプリリスト画面

(→P32~48)



お気に入り画面(ラジオ)

(→P17)

*画面は一例です。

ホーム画面

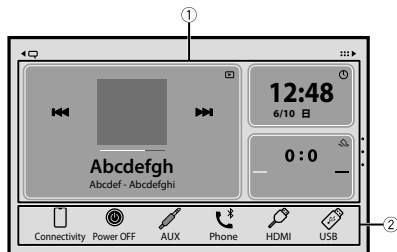
ホーム画面にはウィジェットエリアとお気に入りソース／アプリエリアがあります。

ホーム画面のレイアウトは、変更することができます。




画面操作は、安全な場所に停車してからおこなってください。

ホーム画面のウィジェットエリアおよびお気に入りソース／アプリエリアのアイコン配置は、本機に Bluetooth 接続される機器ごとに保存されます。

本機に Bluetooth 接続される機器によってホーム画面の表示は異なります。



*画面は一例です。

①	ウィジェットエリア (→ P16) タッチすると、ソース／アプリを表示します。 長くタッチすると、ウィジェットをカスタマイズできます。
②	お気に入りソース／アプリエリア タッチすると、選択したソース／アプリを表示します。 よく使うソース／アプリアイコンを配置すると便利です。
	通知画面を表示します (→ P17)。
	ソース／アプリリスト画面を表示します (→ P32)。
	お気に入りの放送局画面を表示します (→ P17)。


ウィジェットエリアをカスタマイズする

✎ ・安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

ウィジェットカスタマイズ画面




*画面は一例です。


①	ウィジェットエリア お好みの位置にウィジェットを配置できます。 よく使うウィジェットを、リストエリア(②)から選び、ウィジェットエリア(①)へドラッグします。 ウィジェットエリアに空きがない場合は、ウィジェットを入れ替えてください。
②	リストエリア 選択可能なウィジェットが表示されます。 左右にスワイプすることで、ウィジェットを確認することができます。
	ウィジェットエリアのウィジェットにタッチすると表示されます。 ウィジェットのサイズを変更できます。 ウィジェットの角にタッチし、変更したいサイズにドラッグします。

✎ ・ウィジェットエリアにウィジェットは4つまで配置できます。

■ウィジェットを入れ替える

- 1  ボタンを押し、ウィジェットエリアを長くタッチする
- 2 ウィジェットエリアから移動したいウィジェットを、リストエリアへドラッグする

✎ ・ウィジェットエリアにウィジェットは4つまで配置できます。


- 3 ウィジェットエリアへ移動したいウィジェットを、リストエリアからウィジェットエリアへドラッグする
終了するときは、 にタッチします。

お気に入りソース／アプリエリアをカスタマイズする


よく使うソース／アプリをお気に入りソース／アプリエリア(→P15「お気に入りソース／アプリエリア」)に配置したり、画面配置や並び順を変更できます。

✎ ・安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

■画面配置の変更

- 1 お気に入りソース／アプリエリアを長くタッチする
ソース／アプリの一覧が表示されます。
- 2  にタッチする
- 3 [アイコン配置:下] (画面下配置) または [アイコン配置:上] (画面上配置) を選択する

■並び順の変更

- 1 お気に入りソース／アプリエリアを長くタッチする
ソース／アプリの一覧が表示されます。
- 2 アイコンを配置したい箇所へドラッグする
- 3 配置が完了したら  にタッチする

■表示アイコンの変更

1 お気に入りソース／アプリエリアを長くタッチする

ソース／アプリの一覧が表示されます。

2 ソース／アプリの一覧から、お気に入りソース／アプリエリアに表示させたいアイコンをドラッグする

3 お気に入りソース／アプリエリアに配置エリアが無くなった場合は、不要なアイコンをソース／アプリの一覧ヘドラッグする

4 配置が完了したら [X] にタッチする



- Connectivity アイコンは、お気に入りソース／アプリエリアから削除できません。
- Connectivity アイコンは、お使いの iPhone またはスマートフォンによって Apple CarPlay アイコンまたは Android Auto アイコンに変わります。


お気に入り画面 (ラジオ)


よく使う放送局を、お気に入り画面に表示することができます。

お気に入り画面

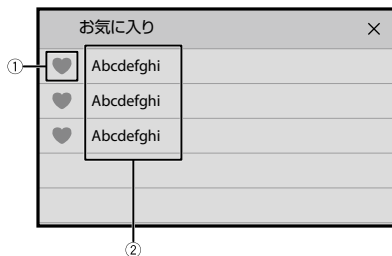


- ① お気に入りの放送局を表示します。タッチした放送局を選局します。

 お気に入りの放送局をリスト表示します。(リスト画面参照)

 お気に入りリストに放送局が 4 つ以上ある場合に、お気に入りの放送局を更新します。タッチするとお気に入りリストの次の 3 局を表示します。

リスト画面



- | | |
|---|--------------------------------|
| ① | お気に入りの放送局へ登録／削除します。 |
| ② | 受信可能な放送局を表示します。タッチした放送局を選局します。 |

通知画面

iPhone またはスマートフォンにインストールされているアプリからのお知らせや、CarAVAssist に登録されているスポーツ情報の通知を受信します。



- お知らせ機能は、CarAVAssist がインストールされている iPhone またはスマートフォンに、Bluetooth 接続する必要があります。Bluetooth 接続の詳細については、「Bluetooth 機器を登録／接続する」(→P18) を参照してください。
- スポーツ情報を受信するには、CarAVAssist に登録した登録情報を本機に取り込む必要があります。
- スポーツ情報を受信するには、GPS アンテナが正しく本機に取り付けられ、本機が Wi-Fi 接続されている必要があります。

通知画面



- ① タッチして、通知の詳細を表示します。

Bluetooth®

ハンズフリー機能や Bluetooth Audio 機能を利用するためには、機器を本機に Bluetooth 接続します。また、CarAVAssist のデータ転送に使用します。

対応する Bluetooth プロファイル

本機のプロファイルは仕様を参照してください(→P106)。

- HFP (Hands Free Profile) とは、ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- SPP (Serial Port Profile) とは、シリアル通信するためのプロファイルです。

Bluetooth 接続できないときは

以下症状でお困りの場合は、それぞれの「処置」をお試しください。

症状	処置
HFP 接続はできるが、SPP 接続ができない(アプリ機能が使えない)。	Bluetooth 機器の Bluetooth 通信機能を OFF → ON してください。それでも正常にならない場合は、Bluetooth 機器を再起動してください。
HFP 接続ができない。	車のエンジンスイッチを OFF → ON (ACC OFF → ON) してください。 接続がうまくいかない登録済みの機器をいったん削除し、もう一度登録・接続を行ってください。

Bluetooth 機器を登録／接続する

- 本機は 5 台の Bluetooth 機器を登録できます。
- すでに 5 台登録していて、新たに Bluetooth 機器を登録する場合は、登録済みの Bluetooth 機器を削除してください。
- 登録した 5 台のうち、電話機能として同時に 2 台の Bluetooth 機器を接続することができますが、Bluetooth Audio 機器として接続できるのは常に 1 台です。

1 外部機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

3 、 の順にタッチする

4 [機器登録／削除] にタッチする

5 にタッチする

一度接続した Bluetooth 機器を接続したい場合は、Bluetooth 機器にタッチする

周辺の Bluetooth 機器を自動的に探します。

Bluetooth 機器が見つかると、リスト表示されます。

6 登録する機器にタッチする

7 Bluetooth 機器を操作してペアリングを許可する

ペアリングが完了すると、自動的に本機と Bluetooth 機器との接続が開始されます。



- 一度接続が完了した Bluetooth 機器は、本機に登録され、次回からリスト表示されます。
- 本機は Bluetooth 接続でハンズフリー通話の電話機 2 台を同時に接続することができます。
- 2 台の Bluetooth 機器がすでに HFP により接続されているとき、接続しようとしている機器が HFP 接続機器だった場合は、先に接続していた機器のうち最初に接続していた方を切断します。
- スマートフォンをお使いの場合は、電話帳へのアクセス許可を求めるメッセージがステータスバーにのみ表示されることがあります。その場合は、ステータスバーを下にドラッグして、通知パネルを表示して操作してください。
- Bluetooth 接続完了まで約 30 秒から 1 分程度かかります。
- Bluetooth 機器からパスキーを求められた場合は、本機に表示されている数字を入力してください。

2 台の機器を HFP 接続中のときの Bluetooth Audio 機器の接続

HFP 接続に対応した機器 2 台の HFP 接続を維持したまま、3 台目を Bluetooth Audio 機器として接続したい場合は、AV ソース画面で機器切りかえをするか、Bluetooth 機器側から接続してください。

登録機器を削除する

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 [機器登録／削除] にタッチする

4 にタッチする

5 [[はい]]にタッチする

Bluetooth の設定をする

パーキングブレーキが解除されている場合は操作できません。安全な場所に車を停めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。








1 外部機器のBluetooth機能をオンにする

2 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

3 、 の順にタッチする

4 [Bluetooth設定]にタッチする




Bluetooth 設定画面が表示されます。

<p>自動接続</p>	<p>本機と Bluetooth 機器の自動接続を設定できます。タッチするたびに、オン⇄オフが切りかわります。[オン]を選択した場合は、最後に HFP 接続した Bluetooth 機器に HFP 接続します。</p> <ul style="list-style-type: none">  自動接続される順番は、本機に登録された順になります。 2 台の HFP 機器を自動的に接続した場合は、最初に接続された機器が Phone メニューの操作対象になります。 自動接続を [オン] に設定していても、Bluetooth 機器の状況によっては接続できないことがあります。 自動接続はハンズフリー接続機器のみ設定できます。 Bluetooth Audio 機器は自動設定が [オフ] の場合でも、自動接続されます。 	<p>パスキー</p> <p>本機のパスキーを変更できません。 パスキーを入力し、 をタッチします。</p> <ul style="list-style-type: none">  C (クリア) にタッチすると、入力した番号を消去します。 パスキーは、8 桁まで入力できます。
<p>自機検出</p>	<p>Bluetooth 機器側から周辺の機器をサーチした際に本機が見えるようにします。タッチするたびに、オン⇄オフが切りかわります。</p> <ul style="list-style-type: none">  設定を [オフ] にしても、Bluetooth 機能は使用できます。 	<p>自機情報</p> <p>本機の自機名称や BD アドレスを確認できます。</p>
		<p>自動受話</p> <p>かかってきた電話に自動応答するかしないかを設定できます。</p> <p>オン 着信 5 秒後に自動で通話できます。</p> <p>オフ  にタッチしない限り、通話できません。</p> <ul style="list-style-type: none">  一方が通話中に、もう一方にかかってきた着信には自動受話機能は働きません。
		<p>Ring Tone</p> <p>本機の着信音を使うかどうかを設定できます。タッチすることにより、オン⇄オフが切りかわります。</p> <p>オン 本機の着信音を使用します。</p> <p>オフ Bluetooth 機器の着信音を使用します。</p>
		<p>姓名変換</p> <p>姓名の順序を入れ替えます。</p> <p>Bluetooth メモリクリア</p> <p>本機に搭載された Bluetooth 機器のメモリーをクリアできます。[クリア]にタッチし、「クリアしてよろしければ OK を押してください。」と表示されたら [OK] をタッチしてください。クリアが開始します。完了すると「クリアしました。」と表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  クリア中は本機の電源をオフにしないでください。また、エンジンを切らないでください。

音質設定	Bluetooth 接続品質を設定 します。 設定をタッチしてください。	
	音質優先	高音質で再生し ます。
	接続性優先	通常の音質で再 生します。

Bluetooth 機器を切りかえる

Bluetooth 機器を複数台登録した場合、切りかえて使用できます。

- 1 外部機器のBluetooth機能をオンにする
- 2  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 3 、 の順にタッチする
- 4 [機器登録／削除]にタッチする
- 5 切りかえたいBluetooth機器にタッチする

選択した Bluetooth 機器への接続を行います。

ハンズフリー通話

本機に Bluetooth 接続した電話機を使って、ハンズフリー通話ができます。あらかじめ Bluetooth 設定を行ってください (→ P18)。

- ① 本機は 5 つまでの機器を Bluetooth 接続の接続先として登録できます。
- ② 登録した機器のうち、HFP プロファイルに対応した電話機は同時に 2 台まで接続できます。

Phone メニューを表示する

1 [] ボタンを押し、画面を左にスワイプする

お気に入りソース／アプリエリアに [] が表示されている場合は、画面を左にスワイプする必要はありません。

2 [] にタッチする



次の項目が表示されます。

- 接続されている電話機名
- 接続されている電話機の本機への登録番号
- 電波状態
- 電池残量

- ① []
 - 2 台の電話機を同時に接続している場合は、電話機を切りかえます。
 - 接続する電話機を変更すると、ホーム画面のウィジェットエリア、お気に入りソース／アプリエリアのアイコン、Browser のブックマーク、お気に入りの Sports チーム、通知の設定、壁紙の設定が変更されます。詳しくは「CarAVAssist」(→ P29) をご覧ください。

② 検索言語が表示されます。

[] プリセットダイヤルから電話をかけます (→ P22)。

[] 電話帳から電話をかけます (→ P22)。

	発信履歴から電話をかけます (→ P21)。
	電話番号を入力して電話をかけます (→ P21)。
	iPhone の音声認識操作ができます (→ P23)。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

■ 電話番号を入力して電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

1 [] ボタンを押し、画面を左にスワイプする

お気に入りソース／アプリエリアに [] が表示されている場合は、画面を左にスワイプする必要はありません。

2 [] にタッチする

3 [] にタッチする

4 電話番号を入力し、[] にタッチする

発信を開始します。

発信中 [] にタッチすると、発信を中止します。

- ① 付属リモコンの ▲/▼ ボタンでも発信を中止できます。

■ 発信履歴から電話をかける

本機と接続中の履歴 (発信、着信、不在着信) を表示し、電話をかけることができます。

1 [] ボタンを押し、画面を左にスワイプする

お気に入りソース／アプリエリアに [] が表示されている場合は、画面を左にスワイプする必要はありません。

2 [] にタッチする

3 [] にタッチする

4 表示したい履歴を選んでタッチする

[] : 発信履歴

[] : 着信履歴

[] : 不在着信履歴

5 相手先を選んでタッチする

発信を開始します。

- 発信履歴、着信履歴、不在着信履歴は、各 80 件まで保存されます。新しい履歴ができたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 携帯電話の Bluetooth プロファイルの内、PBAP プロファイルを有していることが前提です。PBAP プロファイルがあっても、発着信履歴が表示できないことがあります。

■ 電話帳から電話をかける

電話機から転送した電話帳情報を使って電話をかけます。あらかじめ、電話機の電話帳を本機に転送してください。

- 電話帳は、登録した電話機ごとに、それぞれ 1 000 件ずつ保存できます。
- 電話帳は、本機に登録された電話機ごとに読み込まれます。接続する電話機を切りかえると、表示される電話帳の内容も切りかわります。
- 登録した電話機によりメモリダイヤルの読み込みに制限がある場合があります。
- PBAP プロファイルに対応していない電話機は、自動的に電話帳が転送されません。その場合は、手動で電話帳の転送操作をしてください。電話帳の転送方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 電話帳内の件数、電話機の機種により、転送に時間がかかる場合があります。(電話帳の転送中は、本機から発信することはできません。)
- 正しく電話帳が読み込めなかった場合は、以下をおこなってから再度電話帳を本機に転送してください。
 - Bluetooth 機器を再度接続 (ペアリング) する。
 - 車のエンジンスイッチを OFF → ON (ACC OFF → ON) する。

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 にタッチする

3 にタッチする

4 相手先を選んでタッチする

- リスト右側に表示されたひらがなの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。

5 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする


発信を開始します。

■ プリセットダイヤルから電話をかける

発着信履歴または電話帳から、よく連絡する相手を電話機ごとに 6 件まで登録できます。

プリセットダイヤルに登録する

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

お気に入りソース／アプリエリアに  が表示されている場合は、画面を左にスワイプする必要はありません。



2 にタッチする

3 または を表示させる

- リスト右側に表示されたアルファベットの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。


4 登録したい電話番号の右側にある にタッチする

プリセットダイヤルに登録されます。

- プリセットダイヤルに登録されている相手先を選んで、 にタッチし、 にタッチすると削除できます。

プリセットダイヤルから電話をかける

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

お気に入りソース／アプリエリアに  が表示されている場合は、画面を左にスワイプする必要はありません。

2 にタッチする


3 にタッチする

4 相手先を選んでタッチする

発信を開始します。

プリセットダイヤルを削除する

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

お気に入りソース／アプリエリアに  が表示されている場合は、画面を左にスワイプする必要はありません。

2 にタッチする

3 にタッチする

4 にタッチする

5 [はい] にタッチする

通話中の操作

通話中は、通話中メニューが表示され、マイク感度の調整やプライベートモードのオン/オフ、電話を切るなどの操作ができます。



	電話を切ります。
	プライベートモードをオン/オフします。ハンズフリー通話を一時的に使わないときはプライベートモードをオンにします。
	マイク感度を3段階で調整できます。

- 付属リモコンの▲/▼ボタンでも電話を受けたり、電話を切ることができます。
- 電話機側で操作することもできます。
- 本機に電話機を2台同時に接続している場合、1台目のプライベートモードを[オン]にしていれば、1台目の通話を維持したまま2台目にかかってきた電話もとることができます。

■2台同時接続時の着信と受話

本機に電話機をHFPによって2台同時に接続している場合、1台目が通話中(発信中、着信中、キャッチホン中も含め)に2台目に電話が掛かってくると、「2台目の着信」と表示されます。

2台目への着信を受けるときの1台目の動作は、1台目のプライベートモードのオン/オフによって異なります。

1台目のプライベートモードがオンのとき：

1台目の通話を維持したまま、2台目にかかってきた電話をとります。

1台目のプライベートモードがオフのとき：

1台目の通話を終了し、2台目に掛かってきた電話をとります。

- 2台目のプライベートモードを[オン]にして電話に出た場合も、1台目の通話を維持したまま2台目にかかってきた電話をとることができます。

音声認識機能を使う

本機を使って iPhone の音声認識操作ができます。iPhone に iOS 6.1 以上が搭載され、iPhone で Siri の設定を ON にしている場合は、Siri アイズフリー(音声認識)機能が使えます。

それ以外の場合は、音声コントロールとして動作します。

- 音声認識で操作できる機能は、iPhone によって異なります。
- 音声認識機能については、iPhone の取扱説明書をご覧ください。
- 車の窓は閉め、マイクの正面に向かって発声してください。
- はっきりと、ゆっくり発声してください。
- iPhone 以外の機器の音声認識には対応していません。

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

お気に入りソース/アプリエリアに が表示されている場合は、画面を左にスワイプする必要があります。

2 にタッチする

3 にタッチする

4 マイクに向かって話す

発声した内容に関連するアクションや情報表示をします。

- iPhone に iOS 6.1 以上が搭載され、iPhone で Siri 機能が ON に設定されている場合は、画面には「音声認識/応答中」と表示されます。それ以外の場合は「音声コントロール」と表示されます。
- 終了するには、 にタッチして音声認識ウィンドウを閉じるか、 ボタンを押します。再度 ボタンを押すと音声認識を再開します。

■2台同時接続時の音声認識操作


音声操作する電話機を切りかえて操作することができます(音声認識操作での切りかえを行った場合は、Phone メニューでの操作対象になる電話機も切りかわります)。

1 2台の電話機を接続する

「Bluetooth 機器を登録/接続する」(→P18)

2 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

お気に入りソース/アプリエリアに が表示されている場合は、画面を左にスワイプする必要があります。

3  にタッチする

4  にタッチする

5 操作したい電話機のキーにタッチする


音声認識を始めるタッチキーに出ている番号は登録された機器の番号です (→ P18)。

受話音量を調節する


通話中の受話音量をメイン音量とは別に調節できます。

1 通話中に、+/- (音量) ボタンを押す


電話の受けかた

1 クルマのスピーカーから着信音が流れたら、 にタッチする

電話がつながり、通話ができます。

電話を切るときは、 にタッチします。



- ・付属リモコンの▲/▼ボタンでも電話を受けたり、電話を切ることができます。
- ・電話帳に登録されている電話番号と一致すると、電話帳で登録された名称が表示されます。
- ・発信者番号通知サービスの利用状況によっては、相手の電話番号や名前は表示されません。
- ・電話機を操作して電話に出ると、プライベートモードでの通話になります。
- ・「2 台同時接続時の着信と受話」(→ P23)
- ・電話機側で応答保留にしても、 にタッチすることで応答保留を解除できます。

着信音量を調節する

着信音の音量をメイン音量とは別に調節できます。

1 着信中に、+/- (音量) ボタンを押す

ハンズフリーエコー (残響音) が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する電話機、通話相手の環境によりエコーが発生する場合があります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- ・受話音量を小さくする
- ・お互いに一呼吸おいて話す

ただし、本機内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

Bluetooth Audio 操作

AV プロファイルに対応した Bluetooth Audio 機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio 機器内の音楽データを本機で再生することができます。

AV プロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.5	○	△	△	△

○：できます。

△：Bluetooth Audio 機器により異なります。

×：できません。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。



本機では同時に 2 台の Bluetooth 接続を行えますが、Bluetooth Audio 機器としては常に 1 台だけの再生になります。もう一台の機器を再生したい場合は、機器を切りかえてから再生してください。

Bluetooth Audio 設定

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 [AV ソース設定] にタッチする

4 [Bluetooth Audio] がオンになっていることを確認する

タッチすることにより、オン/オフが切りかわります。

5 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

6 [Bluetooth Audio] をタッチする

Bluetooth Audio 機器を再生する

Bluetooth Audio 機器をお使いになるには、あらかじめ本機に Bluetooth Audio 機器を登録する必要があります (→ P18)。

Bluetooth Audio 機器は、ソースが Bluetooth Audio に切りかえられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります (一番最近に接続された Bluetooth Audio 機器に接続を試みます)。

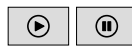


- 接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。
- 本機に登録されていない Bluetooth Audio 機器は、接続することができません。
- 優先接続する Bluetooth Audio 機器を変更したい場合は、Bluetooth 設定メニューで行ってください (→ P26)。
- Bluetooth Audio 機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio 機器の全てのプロファイルの接続を解除してから再度接続してください。



①

トラックナンバーを表示します。



再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。



タッチするとトラックアップ/ダウンします。



タッチすることにより、リピート再生範囲を切りかえます。



タッチすることにより、ランダム再生を切りかえます。



イコライザーカーブを切りかえます (→ P58)。



再生するファイルまたはフォルダーを、リストから選択します。



接続中の Bluetooth Audio 機器との接続を切断し、選択した機器に接続先を切りかえます (→ P26)。



自動的に再生が始まらない場合は、 にタッチしてください。

- [C]にタッチしても再生が開始されない場合は、Bluetooth Audio 機器側で再生を開始させてください。
- A2DP + AVRCP 接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
- A2DP+AVRCP Ver1.3以降で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます (Bluetooth Audio 機器によっては表示されない場合もあります)。また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にそれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。
- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (1 曲リピート中の選曲操作など) を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。

リストから選んで再生する

リストを表示して聞きたい曲／ファイルを選ぶことができます。

1 [≡] にタッチする

リストが表示されます。

2 再生したい項目にタッチする

選んだ曲／ファイルの再生が始まります。

- フォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内の項目リスト表示します。

Bluetooth Audio 機器の接続について

■ 接続する Bluetooth Audio 機器を切りかえる

Bluetooth Audio 機器を複数台登録した場合、切りかえて使用できます。

- 切りかえたい機器の Bluetooth 機能が ON になっていないと、接続できません。

1 [□] にタッチする

2 切りかえたい Bluetooth Audio 機器にタッチする

選択した Bluetooth Audio 機器への接続を行います。

- 切りかえ先の機器の種類や機器状態によって、切りかえ前の AV ソースが維持されることがあります。その場合は Bluetooth Audio 経由で再生したいソースに手動でソースを切りかえてください。

■ 一時的に接続が切断された場合

接続中の Bluetooth Audio 機器との接続が一時的に中断しても、以下の場合は、自動的に再接続を行います。

- AV ソースを切りかえた場合
- ACC を OFF/ON した場合

- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audio を使用中は携帯電話がデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったん本機のシステム設定メニューの Bluetooth Audio を [オフ] (→ P25) にすることで、Bluetooth Audio 接続を行わないようにすることができます (Bluetooth Audio 機器の音楽再生ソフトも終了させてください)。

■ Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合

お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては、Bluetooth Audio 機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、Bluetooth Audio 機器側から本機をサーチし、Bluetooth Audio 機器側での操作で本機に接続してください。

- 自動接続処理は 1 分以内に接続が完了しないと中断されます。
- Bluetooth Audio 機器側の接続操作は、Bluetooth Audio 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

Wi-Fi[®] 接続

Browser、Sports、Weather、Alexaなどの機能を使用するためにWi-Fi接続します。

本機は、以下の2通りの接続方法で、Wi-Fi接続できます。

- マニュアル接続
- WPS接続

お使いの端末に応じて、接続方法を選択してください。



• Wi-Fiご使用時の通信料は、お客様のご負担となります。

Wi-Fi 接続

■ マニュアル接続の場合

- 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 、 の順にタッチする
- 3 [Wi-Fi設定]にタッチする
- 4 [Wi-Fi]を[オン]に設定する
- 5 [アクセスポイント設定]にタッチする
- 6 にタッチする

接続可能な端末またはアクセスポイントが表示されます。

- 7 接続したい端末またはアクセスポイントにタッチする。

パスワードが必要な場合は、パスワード入力画面が表示されます。

- 8 パスワードを入力し、[接続]にタッチする



• 本機を初めてWi-Fi接続したときには、「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」への同意画面が表示されます。

インターネットを経由したサービスを利用するには、同意する必要があります。

同意しない場合は、サービスを利用できない場合があります。

「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」は、[システム設定]の[利用規約/プライバシーポリシー]から変更することができます。

• 利用規約の表示枠内の画面を下から上にスワイプするか、表示枠の右端にあるスクロールバーを上から下に移動して規約を確認してください。

最下部に移動すると「次へ」や「決定」がタッチ可能になります。

■ WPS接続の場合

WPS (Wi-Fi Protected Setup[™]) が使用可能な場合、Wi-Fi ネットワークに簡単に接続できます。

以下の2通りの接続方法があります。

- プッシュボタン方式
- PINコード方式

プッシュボタンで WPS 接続する

- 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

- 2 、 の順にタッチする

- 3 [Wi-Fi設定]にタッチする

- 4 [WPS接続]にタッチする

- 5 [WPS]にタッチする

PINコードで WPS 接続する

- 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

- 2 、 の順にタッチする

- 3 [Wi-Fi設定]にタッチする

- 4 [WPS接続]にタッチする

- 5 [WPS(PIN)]にタッチする

- 6 接続する端末で表示されたPINコードを入力する

Wi-Fi の設定

- 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

- 2 、 の順にタッチする

- 3 [Wi-Fi設定]にタッチする



• パーキングブレーキが解除されている場合、一部機能は操作できません。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

メニュー項目はソース／アプリによって異なります。

Wi-Fi	Wi-Fi 接続をオン／オフ設定します。
アクセスポイント設定	Wi-Fi アクセスポイントを設定します (→ P28)。
WPS 接続	WPS Wi-Fi 接続を設定します (→ P27)。
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	IP アドレスを表示します。

■ アクセスポイントを設定する

- 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 、 の順にタッチする
- 3 [Wi-Fi設定]にタッチする
- 4 [アクセスポイント設定]にタッチする

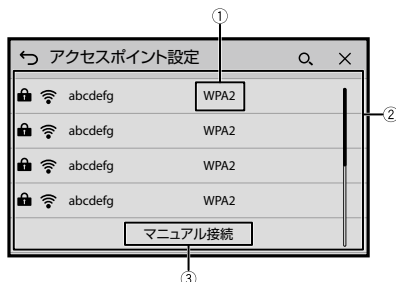
アクセスポイント設定画面



①	接続可能な端末名 (アクセスポイント名) を表示します。 接続先にタッチします。
	自動接続 タッチして、ネットワーク接続の自動／手動を切りかえます。
	接続の優先順位／接続する端末の優先度 本機に登録したアクセスポイントが複数ある場合に、自動接続する端末の優先度を変更できます。 優先順位を変更したい位置へ端末名をドラッグし、 にタッチします。
	アクセスポイントを検索します。

	アクセスポイントを削除します。
--	-----------------

アクセスポイント追加設定画面



①	Wi-Fi のネットワークセキュリティタイプです。
②	接続可能なアクセスポイントを表示します。 タッチして接続します。 パスワードが必要な場合は、パスワード入力画面が表示されます。
③	ネットワーク名 (SSID)、セキュリティ、パスワードを入力しての接続すると、表示されていないネットワークへ接続できます。
	接続可能なアクセスポイントを再検索します。

通信サービス利用規約およびプライバシーポリシーについて

本機が Wi-Fi 機能を利用して通信可能な状態になると初回時には「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」の画面を表示します。

同意いただくことにより、Wi-Fi を使った通信サービスが利用できます。

■ 同意／取消をおこなう

- 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 、 の順にタッチする
- 3 [利用規約/プライバシー]にタッチする
- 4 同意／取消をおこなう

CarAVAssist

CarAVAssist を利用して、本機の設定をしたり、ソフトウェアを更新することができます。

また、お気に入りの Web サイトを登録しておくことで、本機の Web ブラウザを使って Web サイトを閲覧することができます。

CarAVAssist の詳細については、CarAVAssist のヘルプをご確認ください。



CarAVAssist

- CarAVAssist 利用時には、Apple CarPlay、Android Auto が終了していることを確認してください。
- CarAVAssist を使用してお気に入りの Web サイトを転送するには Bluetooth 接続が必要です。

開始前の準備

- 運転中に CarAVAssist の操作はしないでください。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

iPhone

このアプリは iOS 12.0 以降と互換性があります。

CarAVAssist は App Store からダウンロードできます。



スマートフォン

このアプリは、Android OS6.0 以降と互換性があります。

CarAVAssist は Play ストアからダウンロードできます。



■ CarAVAssist の機能について

本機の使用に関して

iPhone / スマートフォンを使って、本機の機能をカスタマイズできます。以下は一例です。

- ウィジェット、ホーム画面のカスタマイズ
- 壁紙のカスタマイズ
- お気に入り URL の登録
- お気に入りスポーツを登録し、試合情報などの情報を受信する
- iPhone またはスマートフォンのお知らせを、本機に表示する
- 本機の最新ファームウェアのダウンロード

データを転送する

1 CarAVAssist がインストールされた iPhone またはスマートフォンを、Bluetooth で本機に接続する (→P18)

2 ボタンを押し、ホーム画面を左にスワイプする

3 にタッチし、データ転送画面にする

4 iPhone またはスマートフォンで、CarAVAssist を起動して本機を AV メインユニット登録する

5 CarAVAssist アプリの画面上部にある Bluetooth 接続ボタンをタッチし、データ転送可能状態にする

6 使用する転送モードにタッチする

Bluetooth 接続が切れた場合は、再度、上記操作を行って転送可能状態にしてください。

	iPhone またはスマートフォンから本機に転送します。
	本機から iPhone またはスマートフォンに転送します。


- iPhone またはスマートフォンから本機に転送する場合は転送が開始されると「転送を開始します」、転送が終了と「設定の読み込みが完了しました」と表示されます。
- 本機から iPhone またはスマートフォンに転送する場合は「転送が完了しました」と表示されます。

ファームウェアを更新する

- 更新中は、本機、iPhone / スマートフォンの電源を切らないでください。
- パーキングブレーキ状態のときに、アップデートが可能です。
- 最新ファームウェアにアップデートすると、旧バージョンに戻すことはできません。

1 CarAVAssistを使用して、iPhone またはスマートフォンに更新ファイルをダウンロードする

2 CarAVAssistをインストールした iPhone またはスマートフォンと本機をWi-Fiで接続する (→P27)

3  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

4 、 の順にタッチする

5 [システム情報]にタッチする

6 [ファームウェアバージョンアップ]にタッチする

画面の指示に従い、ファームウェアを更新します。

- ファームウェアの更新に成功したら本機は自動で再起動します。
- エラーメッセージが表示されたら上記手順を再度やりなおしてください。

Browser

Browser は、CarAVAssist を使用して登録された Web サイトを閲覧できる Web ブラウザです。

- Browser を利用するにあたって、使用者のクレジットカード情報、銀行口座情報、個人情報など、使用者にとって重要な情報は入力しないでください。
- Browser を利用するにあたって、当社が関与しないソフトウェア等は実行しないでください。端末が故障したり、入力された情報および本機内の個人情報などが危険にさらされたりする可能性があります。
- 運転中に Web サイトの閲覧はしないでください。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- ページによっては遷移できないページがあります。
- ページによっては表示できないページがあります。
- ページによっては表示できない文字があります。
- ページの表示に時間がかかる場合があります。
- 動画の解像度によっては表示が遅くなる場合があります。
- 動画や音声の種類によっては再生できない場合があります。
- PDF などプラグインを使用したコンテンツ表示には対応していません。
- ファイルのダウンロードなど一部使用できない機能があります。
- Browser と Apple CarPlay、Android Auto を同時に利用する場合は、Browser が前面に表示されている場合のみリアモニターに Browser が表示されます。
Browser が前面に出ていない場合、リアモニターは黒画面表示になります。


Browser 使用するまでの流れ

- 1 CarAVAssistのダウンロードとお気に入り、Webサイトを登録する (CarAVAssistのヘルプを参照)
- 2 Bluetooth接続をする (→P18)
- 3 Wi-Fi接続をする (→P27)
- 4 CarAVAssistと本機をBluetooth接続し、CarAVAssistでお気に入りWebサイトをデータ転送する (→P29)

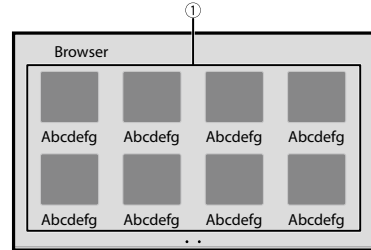
上記の 1 から 4 の操作により Browser にお気に入りの Web サイトの URL が転送されてアイコンが表示されます。

Browser を使う

- Browser を使うには、「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」に同意する必要があります (→ P28)。
- 動画の解像度が高いと動作が遅くなる場合があります。

- 1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 [Browser] にタッチする
- 3 開始したいWebサイトのアイコンにタッチする

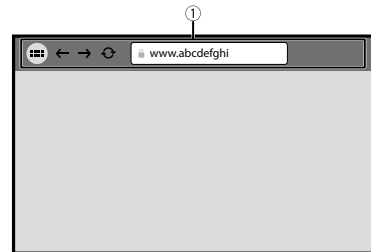
Browser 画面







- ① お気に入りに登録した Web サイトの一覧を表示します。閲覧したい Web サイトにタッチしてください。

- 画面を左右にスワイプすることで Web サイト一覧画面に切りかえることができます。

Web サイト画面



- ① 下にスワイプするとツールバーを表示します。

- | | |
|---|------------------|
|  | Browser 画面に戻ります。 |
|  | 前の Web 画面に戻ります。 |
|  | 次の Web 画面に進みます。 |
|  | 表示ページを更新します。 |

ソース／アプリ

サポートするソースとアプリ

本機は以下のソースおよびアプリに対応しています。

- ラジオ (→ P34)
- TI (交通情報) (→ P35)
- USB (→ P36)


以下のソースおよびアプリは、本機以外の機器と接続することで使用できます。

- iPhone (→ P40)
ソース名称は「iPod」と表示されます。
- Bluetooth Audio (→ P25)
- AUX (→ P48)
- HDMI (→ P48)
- Browser (→ P31)
- Sports (→ P43)
- Weather (→ P43)
- Alexa (→ P44)

ソース／アプリリスト画面を表示／選択する

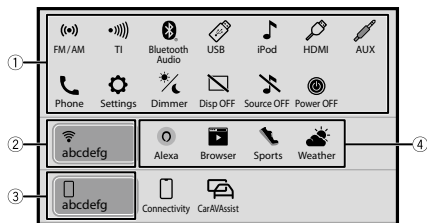
再生する音源(ソース)を選択する画面を表示します。



■ ソース／アプリを表示する

- 1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする


ソース／アプリリスト画面が表示されます。

ソース／アプリリスト画面




①	ソースリスト タッチしたソースを表示します。  • Power OFF を選択すると、本機のほとんどの機能がオフになります。 以下の場合、[Power OFF モード] は解除されます。 • 車がバック中に、リアビューカメラから映像が入力されたとき • 本機のボタンを押す • エンジンスイッチのオン／オフの切りかえ (ACC オフ / ACC オン)
②	Wi-Fi 接続 タッチすると、Wi-Fi 設定画面が表示されます (→ P27)。
③	Bluetooth 接続端末 Bluetooth 接続しているときにタッチすると、ハンズフリー可能な機器のリストを表示します。 Bluetooth 接続していないときにタッチすると、検索を開始または機器選択画面を表示します。  • Apple CarPlay または Android Auto を実行しているときは、本機に接続されている選択できる端末リストが表示されます。
④	アプリリスト タッチしたアプリが表示されます。

■ ソース／アプリを選択する


- 1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする


- 2 ソース／アプリにタッチする

-  • [Source OFF] は AV ソースのときのみ操作可能です。
- [Source OFF] を選択すると AV ソースは終了します。

■ ソース／アプリを並べ替える


ソースはお好みの順番で並べ替えることができます。

1 AVソース画面の  をタッチする
(→P32)

2  にタッチする

3 ソース／アプリを移動させたい位置までドラッグする

ソース／アプリの共通操作

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする




選択したいソースまたはアプリをタッチしてください。

[Source OFF] を選択すると、AV ソースは終了します。

(例：USB)



AVソース操作画面で表示される共通のタッチキーには以下のものがあります。

①	ソースとアプリのリストを表示します。
	設定画面を表示します (→P54)。
	イコライザーカーブを切りかえます (→P58)。
	ハンズフリー通話をします (→P21)。

ラジオ

ラジオを聞く

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 [FM/AM]にタッチする

ラジオ画面が表示されます。

代表的な画面



使用する主なタッチキー

	プリセットチャンネルを選びます (→ P34)。 長押しすると、現在の周波数をチャンネルに保存します。
	プリセットされた放送局の周波数を表示します。 登録されているプリセットチャンネルを順番に表示します。
	バンドを切りかえます。 タッチするたびに、バンドが切りかわります。 FM1 ⇄ FM2 AM1 ⇄ AM2 (→ P34)
	ベストステーションズメモリ (BSM) を実行します (→ P35)。
	周波数を順に切りかえて手動選局します。 長くタッチすると自動選局します。

- Wi-Fi 接続 (→ P27) すると、いまラジオで流れている曲の楽曲名を Gracenote データベースにて検索し、取得すると楽曲名を表示します。
- 楽曲によっては取得できない場合があります。
- Gracenote データの内容を 100%保証するものではありません。
- 専用サーバーの Gracenote データは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。専用サーバーによる Gracenote データの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

バンドを切りかえる

FM、AM のバンドを切りかえます。それぞれ、2 つのバンドを持っています。

1 FM1 または AM1 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切りかわります。

FM1 (バンド 1) ⇄ FM2 (バンド 2)

AM1 (バンド 1) ⇄ AM2 (バンド 2)

- バンド 1 とバンド 2 を切りかえて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド 1 には、ふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド 2 に切りかえてベストステーションズメモリー (→ P35) を行うと便利です。

放送局を選ぶ

放送局やチャンネルの選局は、マニュアル選局とプリセット選局があります。

プリセット選局とは、本機に登録されている放送局 (プリセットチャンネル) から選局する方法です。

プリセットチャンネルは、バンドごとにそれぞれ 6 局まで登録できます。

■ マニュアル選局

1 にタッチする

周波数やチャンネルが切りかわります。

- にタッチし続けてから離すと、シーク (自動選局) モードになります。

■ プリセット選局

1 1 ~ 6 にタッチする

選んだ放送局を受信します。

■ ラジオの放送局名を選ぶ

受信中の周波数に対して、放送局名を選んで表示させることができます (工場出荷時の状態では放送局名は表示されません)。一度、放送局名を設定した後も別の放送局名に変更できます。

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 [AVソース設定]にタッチする

4 [ラジオ設定]にタッチする

5 [放送局名選択]にタッチする

6 放送局名一覧から、放送局名を選ぶ

選んだ放送局名に変更されます。

- 本機に登録されていない放送局名は表示できません。
- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていない場合、「データ無し」と表示されます。

受信状態の良い放送局を自動で登録する

ベストステーションズメモリー (BSM) は、受信状態の良い放送局を探して、プリセットチャンネルに自動的に登録する機能です。

1 FM1 または AM1 にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

2 [BSM] に長くタッチする

ベストステーションズメモリーが始まります。

登録が完了すると、P1 (プリセットチャンネル 1) に登録された放送局を受信します。

- 登録動作中に [Cancel] にタッチすると、ベストステーションズメモリーを中止できます。
- 受信状態の良い放送局が 6 局より少ないときは、以前に登録した放送局が残ることがあります。

プリセットチャンネルに登録する

バンドごとに 6 局ずつ登録できます。お好みの放送局をお好みの順番で登録できます。

1 FM1 または AM1 にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

2 ◀ / ▶ にタッチして、登録したい放送局を受信する

3 上書きしたいプリセットチャンネルに長くタッチする

選んだ番号に周波数が表示され、登録が完了します。

お気に入り画面 (ラジオ)

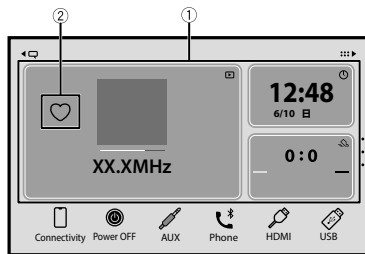
よく使う放送局を、お気に入り画面に表示することができます。(→P17)

1 お気に入り画面に登録するにはRadioソースで登録したい放送局を受信する

2 [] ボタンを押す

3 ウィジェットエリアの♡にタッチする

♡の色が白からピンク色になると登録が完了します。



①	ウィジェットエリア
②	お気に入りの放送局へ登録／削除します。

交通情報 (TI)

高速道路などで放送されている交通情報ラジオの周波数に切りかえます。

1 [] ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 [TI] にタッチする

- 受信をやめるときは、[] ボタンをもう一度長く押します。

3 ◀ / ▶ にタッチして、周波数を切りかえる

1 620 kHz ⇔ 1 629 kHz

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

USB

USB 接続された機器に記録されている音楽、静止画、動画ファイルの再生を行います。

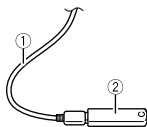
映像再生中に画面にタッチすると操作画面が表示されます。

- 詳しいファイル対応については「再生可能なメディアとファイルについて」(→ P86)をご覧ください。

USB 機器を接続する

1 USB Type-C®のUSB機器を、USB Type-Cケーブルに接続する

- USB Type-A の USB 機器を接続する場合は、付属の USB 変換コネクタをお使いください。
- USB 機器によっては、正しく動作しない場合があります。
- USB ハブを使用しての接続には対応していません。
- 接続には、USB Type-C ケーブルが必要です。
- 付属の USB 変換コネクタは、本機との接続専用です。本機との接続以外には使用しないでください。



①	USB Type-C ケーブル
②	USB 機器

USB 機器を取り外す

USB Type-C ケーブルから USB Type-C の USB 機器を取り外します。

- USB 機器を取り外す場合は、USB 機器が動作中でないことを確認してください。
- USB 機器を取り外す前に、車のエンジンスイッチを OFF (ACC を OFF) してください。

USB 機器を利用する

- 1 [] ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 USB Type-CのUSB機器を、USB Type-Cケーブルに接続する
- 3 [USB]にタッチする

フォルダー順に再生されます。

フォルダーに再生可能なファイルがない場合は、次のフォルダーを再生します。

オーディオソースを操作する

代表的な画面 (オーディオ)



使用する主なタッチキー

①	再生中のファイル情報を表示します。ミュージックブラウズモードのときには、リストを表示して曲を探します。
	再生を一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
	前/次のファイルを選択できます。

	タッチするたびに、リピート再生する範囲を切りかえます。
	再生中の USB メディア全体
	再生中のフォルダー
	再生中のファイル
	選んだリピートの範囲内で、順番を変えて再生します。 タッチすることにより、オフ ⇄ オン が切りかわります。
	USB メディア全体をランダムに再生します。 ・音楽と画像が混在している USB メディアの場合は、現在選択中のデータ範囲でランダムに再生します。
	フォルダー内の曲をランダムに再生します。
	ランダム再生をオンにするとリピート再生の範囲が自動的に に切りかわります。
	前／次にある機能を表示します。 画面を左右にスワイプすることでも表示できます。
	画面を左右にスワイプすることでも表示できます。
	ファイルタイプを切りかえます。 Music 音声ファイル Video 動画ファイル Photo 静止画ファイル ・USB 機器を MTP 接続している場合は使用できません。
	リストを表示して聞きたい曲／ファイルを選ぶことができます。 再生したい項目にタッチすると、選んだ曲／ファイルの再生が始まります。 ・フォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内の項目リスト表示します。
	次のフォルダーまたは 1 つ前のフォルダーを選ぶことができます。
	ミュージックブラウザモード用データベースを作成します。
	再生情報の表示を切りかえます。

・タイムバーのカーソルを指でドラッグして再生位置を指定することもできます。

ミュージックブラウザモードで曲を選ぶ

アルバム名、アーティスト名などの項目別リストからお好みの曲を選んで再生できます (ミュージックブラウザモード)。

- ・項目別リストから検索するために、データベースを構築します。
- ・本機能はタグ情報が書き込まれている音楽ファイルが対象になります。
- ・USB 機器を MTP 接続している場合は使用できません。
- ・エンジンスイッチを OFF にした場合、ミュージックブラウザモードは解除されます。

1 DB にタッチする

「メモリに保存しました」とメッセージが表示されます。

2 目録アイコンにタッチする

Tag 欄のリスト選択画面が表示されます。

3 リストにタッチして曲を絞り込む

アーティスト	アーティスト名から選曲できます。
アルバム	アルバム名から選曲できます。
曲	曲名で選曲できます。
ジャンル	ジャンルから選曲できます。

- ・リストが画面に隠れているときは [...] にタッチします。リストがスクロールし、隠れた部分が表示されます。
- ・リスト右側に表示されたひらがなの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。

4 聞きたい曲にタッチする

選んだ曲の再生が始まります。

- ・ミュージックブラウザモードが解除されてしまった場合は、手順 2 ~ 4 の操作を行うことで、再びミュージックブラウザモードになります。
- ・リストが表示されない場合は、手順 1 から操作して、データベースを保存しなおしてください。
- ・データベースは本機に保存されます。
- ・同じコンテンツが保存されている限り、データベースを再度作成する必要はありません。

動画／静止画ファイル进行操作する

USB 機器に記録されている動画／静止画ファイルの再生を行います。JPEG 画像は、スライドショーで再生できます。

- 詳しいファイル対応については「再生可能なメディアとファイルについて」(→ P86)をご覧ください。
- JPEG 画像はリアモニターで表示されません。

代表的な画面 (動画ファイル)







代表的な画面 (静止画ファイル)



使用する主なタッチキー

①	タッチキーを非表示にします。再度画面にタッチすると再表示します。
	再生を一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
	動画のみ 早戻し／早送りします。 早戻し／早送り中にタッチすることにより、速度が変わります。 4 倍速 → 10 倍速 → 32 倍速
	動画のみ 再生を停止します。 2 回タッチすると、最初から再生します。

	動画のみ タッチするたびに、映像がコマ送りされます。再生中にタッチし続けると、スロー再生されます。コマ戻りと戻り方向のスロー再生はできません。 にタッチすると通常再生に戻ります。						
	動画のみ 再生中のファイルが DivX® の場合、言語を切りかえます。						
	前／次のファイルを選択できます。						
	静止画のみ 選んだりリピートの範囲内で、順番を変えて再生します。 タッチすることにより、オフ ⇄ オン が切りかわります。						
	USB メディア全体をランダムに再生します。 						
	フォルダー内の曲をランダムに再生します。 						
	ファイルタイプを切りかえます。 <table border="1"> <tr> <td>Music</td> <td>音声ファイル</td> </tr> <tr> <td>Video</td> <td>動画ファイル</td> </tr> <tr> <td>Photo</td> <td>静止画ファイル</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> • USB 機器を MTP 接続している場合は使用できません。 	Music	音声ファイル	Video	動画ファイル	Photo	静止画ファイル
Music	音声ファイル						
Video	動画ファイル						
Photo	静止画ファイル						
	ファイルリストを表示します。						
	次のフォルダーまたは 1 つ前のフォルダーを選ぶことができます。						

	<p>静止画のみ JPEG 画像を本機モニターの壁紙に使用できます。設定したい画像を USB 機器に入れ、本機に接続してください。</p> <p>設定画面は以下から選択できます。</p> <table border="1" data-bbox="221 212 552 432"> <tr> <td data-bbox="221 212 337 288">AV 画面として</td> <td data-bbox="337 212 552 288">AV ソース画面の壁紙として使用できます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="221 288 337 347">Home 画面として</td> <td data-bbox="337 288 552 347">ホーム画面の壁紙として使用できます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="221 347 337 432">AV/Home 画面として</td> <td data-bbox="337 347 552 432">AV ソース画面とホーム画面の壁紙として使用できます。</td> </tr> </table> <p data-bbox="188 440 552 507">  ・新しい画像は、すでに設定されている画像がプリセット画像の場合を除き、上書きされます。 </p>	AV 画面として	AV ソース画面の壁紙として使用できます。	Home 画面として	ホーム画面の壁紙として使用できます。	AV/Home 画面として	AV ソース画面とホーム画面の壁紙として使用できます。
AV 画面として	AV ソース画面の壁紙として使用できます。						
Home 画面として	ホーム画面の壁紙として使用できます。						
AV/Home 画面として	AV ソース画面とホーム画面の壁紙として使用できます。						
	<p>静止画のみ タッチするごとに、時計回りに 90 度ずつ回転します。</p>						
	<p>画像の拡大方法を切りかえます (→ P51)。</p>						

iPhone

iPhone を本機に接続して、iPhone オーディオや Apple Music Radio を再生します。

- iPhone とヘッドホン/イヤホンの接続を切ったから、本機に接続してください。
- iPhone のモデルやデータ量によっては、再生開始までに時間がかかる場合があります。
- Apple Music Radio の詳細については、次のサイトを参照してください。
<https://www.apple.com/jp/music/>

1 iPhoneを本機にUSBまたはBluetoothで接続する (→P18、P36)

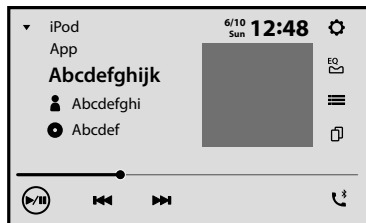
2 [] ボタンを押し、画面を左にスワイプする

3 [iPod] にタッチする

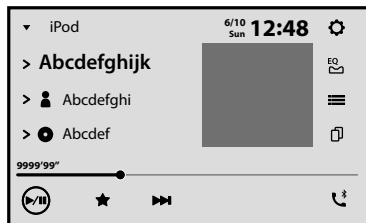
代表的な画面 (オーディオ)



代表的な画面 (アプリ)



代表的な画面 (Apple Music Radio)



使用する主なタッチキー


①	曲名を表示します。 iPhone オーディオ再生中のときには、リストを表示して曲を探します。
	再生を一時停止します。 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
	前のファイルを選択できます。
	次のファイルを選択できます。 Apple Music Radio : 次の曲に進みます。
	タッチするたびに、リピート再生する範囲を切りかえます。
	選択中の再生範囲
	再生中の曲
	再生中のファイル
	シャッフル再生する範囲を切り換える タッチするごとにシャッフル再生の範囲が切り換わります。 Off → Songs(曲) → Albums(アルバム)
	Apple Music Radio 設定画面を表示します。
	これと似た曲を再生 タッチすると、現在の曲に似た曲が再生されます。
	これと似ていない曲を再生 タッチすると現在の曲をもう一度再生しないように設定します。
	iTunes ウィッシュ タッチすると、現在の曲が iTunes のウィッシュリストに追加されます。
	• 再生するコンテンツによっては、設定されない場合があります。
	曲を選択します。 カテゴリーをタッチして、リストからタイトルを選択してください。
	ペアリング時： 選択した機器に接続先を切りかえます (→ P26)。

Apple CarPlay 操作

本機に iPhone を接続し、Apple CarPlay を利用することができます。

- iPhone やアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlay に対応している iPhone については、以下を確認してください。
<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>
- Apple CarPlay についての詳細は、Apple CarPlay サポートサイトをご確認ください。
- Apple CarPlay 利用時には、Amazon Alexa が終了していることを確認してください。
- Apple CarPlay 利用時には、CarAVAssist が終了していることを確認してください。

運転席位置を設定する

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

通信設定画面が表示されます。

3 [運転席位置] にタッチする

4 設定したいポジションにタッチする

[レフト]: 左ハンドル車の場合選択します。

[ライト]: 右ハンドル車の場合選択します。

iPhone を接続する


1 本機に iPhone を USB で接続する

iPhone を USB ケーブル接続するとホーム画面の [Connectivity] が [Apple CarPlay] に変わります。同時に iPod ソースの画面表示が Apple CarPlay の画面表示に変わります。



2 ホーム画面のお気に入りソース／アプリエリアにある Apple CarPlay アイコンにタッチする

Apple CarPlay の画面が表示されます。

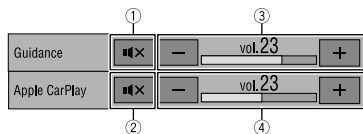
- Apple CarPlay がオンになったら、 ボタンを押して Siri 機能を使用することができます。
- iPhone と本機が Bluetooth で接続されていたときは、Apple CarPlay が有効になると Bluetooth 接続は終了します。Android などの別の端末と本機が Bluetooth で接続されているときは、Bluetooth オーディオ接続のみが可能です。

音量調節

Apple CarPlay を使用すると、ガイド音量をメイン音量とは別に調節できます。

1 Apple CarPlay 画面を表示中に、+ / - VOL (音量) ボタンを押す

音量設定メニューが 4 秒間表示されます。



①	ガイド音声をミュートします。
②	AV ソースの音声をミュートします。
③	[+] または [-] にタッチしてガイド音声の音量を調節します。
④	メイン音量。メイン音量は + / - VOL (音量) ボタンで調節します。




- 音量設定メニューは 4 秒間表示されます。表示が消えたときは、+ / - VOL (音量) ボタンを押すと再度表示されます。

Android Auto™ 操作

本機に Android Auto 対応のスマートフォンを接続し、Android Auto を利用することができます。

- システム設定メニューの入力/出力設定で USB MTP をオンに設定している場合は、Android Auto はご使用になれません。
- スマートフォンやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Android Auto は、Android 5.0 以上のスマートフォンに対応しています。
- Android Auto を使用する場合は、スマートフォンへの専用アプリのインストールが必要です。Android 10.0 以降のスマートフォンでは、専用アプリのインストールは必要ありません。
- Android Auto についての詳細は、Android Auto サポートサイトをご確認ください。
- Android Auto 利用時には、Amazon Alexa が終了していることを確認してください。

運転席位置を設定する

-  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 、 の順にタッチする
通信設定画面が表示されます。
- [運転席位置]にタッチする
- 設定したいポジションにタッチする
[レフト]: 左ハンドル車の場合選択します。
[ライト]: 右ハンドル車の場合選択します。

スマートフォンを接続する


- 本機にスマートフォンをUSBで接続する

スマートフォンを USB ケーブル接続するとホーム画面の [Connectivity] が [Android Auto] に変わります。同時に USB ソースの画面表示が Android Auto の画面表示に変わります。



- ホーム画面のお気に入りソース/アプリエリアにある Android Auto アイコンにタッチする




Android Auto の画面が表示されます。

- Android Auto が有効になったら、 ボタンを押して音声認識を使用することができます。
- スマートフォン以外の携帯電話で通話中に Android Auto をオンにすると、通話後に Bluetooth 接続がスマートフォンに切りかわります。

Android Auto を自動起動する

Android Auto を起動したときに、自動的に Android Auto 画面を表示させるかどうかを設定することができます。

- Android Auto は、スマートフォンが接続されている場合のみ、自動的に起動します。

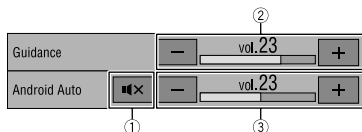
-  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 、 の順にタッチする
- [Android Auto オート起動]にタッチし、オン/オフを切りかえる

音量調節

Android Auto を使用すると、ガイド音量をメイン音量とは別に調節できます。

- Android Auto 画面を表示中に、+/- (音量) ボタンを押す

音量設定メニューが 4 秒間表示されます。



- | | |
|---|--------------------------------------|
| ① | AV ソースの音声をミュートします。 |
| ② | ガイド音声の音量を調節します。 |
| ③ | メイン音量。メイン音量は +/- VOL (音量) ボタンで調節します。 |

- 音量設定メニューは 4 秒間表示されます。表示が消えたときは、+/- VOL (音量) ボタンを押すと再度表示されます。

Sports

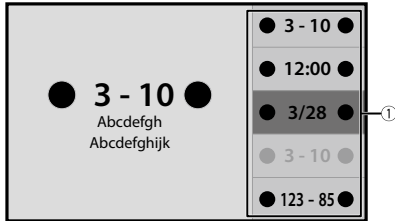
CarAVAssist で登録したチームの試合情報を確認できます。

- Sports を使うには、Wi-Fi 接続が必要です。
- Sports を使うには、[通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー]に同意する必要があります (→ P28)。
- Sports を使うには、CarAVAssist でお気に入りチームを登録し、本機へのデータ転送が必要です (→ P29)。
- Sports で表示できる試合リストは、昨日/今日/明日の3日間です。

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 [Sports]にタッチする

Sports 画面



- ① 試合リストを表示します。現在試合中の場合は、リストを切りかえて表示することができます。

※ 日本プロ野球、Jリーグ、Bリーグなどには対応していません。

Weather

現在地付近の気温、日ごとおよび時間ごとの天気予報を表示できます。現在地は、位置情報サービスを用いて特定しています。

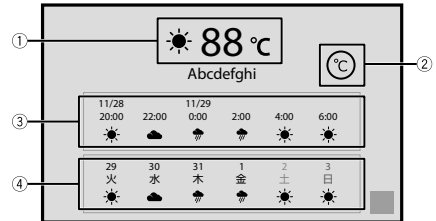
- Weather を使うには、Wi-Fi 接続が必要です。
- Weather を使うには、[通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー]に同意する必要があります (→ P28)。

気象サービスと位置情報サービスは、GPS アンテナを使用して位置と時間を特定しています。接続の前に、本機に GPS アンテナを取り付けてください。GPS アンテナの取り付けについては、「接続・取り付け」(→ P62)を参照してください。

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 [Weather]にタッチする

Weather 画面



- ① 現在地付近の気温を表示します。
- ② 気温の表示°C (摂氏)/°F (華氏)を切りかえます。
- ③ 時間ごとの天気予報を表示します。
- ④ 日ごとの天気予報を表示します。

Amazon Alexa

本機から Amazon Alexa に発話することで音楽を再生したり、ニュースや天気予報をチェックすることができます。

- ✎ 本機をとおして、コール、呼びかけ、メッセージ、アナウンスのサービスも利用できます。ただし、呼びかけの着信はサポートしていません。


詳細については、Amazon の Web サイトでご確認ください。

- ✎ Amazon Alexa を使うには、Wi-Fi 接続が必要です。
- Amazon Alexa を使うには、Amazon アカウントが必要です。
- Amazon Alexa を使うには、「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」に同意する必要があります (→ P28)。
- Amazon Alexa 利用時には、Apple CarPlay、Android Auto が終了していることを確認してください。

開始前に初期設定する

Amazon Alexa を使う前には設定が必要です。

- ✎ 以下の場合は、音声を認識できない場合があります。
 - Amazon のアカウント登録が完了していない。
 - 本機がデータをダウンロード/転送/更新途中である。
 - 本機が起動途中である。
 - 本機のディスプレイに後方映像が表示されている。

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 [Amazon Alexa設定]にタッチする

4 [セットアップ]にタッチする

5 [セットアップを開始]にタッチする

6 ディスプレイに表示されたURLにアクセスする、またはご使用のiPhone またはスマートフォンでQRコード® をスキャンする

7 Amazonアカウントのメールアドレスとパスワードを入力する


8 手順6で確認したコードを入力する
設定が完了するとメッセージが表示されます。

開始する

黄色のビジュアルインジケーターが表示された場合は、Amazon Alexa からの通知があります。

Amazon Alexa へ " 通知は何?(ツウチワナニ) " のように発話することで、通知を確認できます。

■ タッチ操作で開始する

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 [Alexa]にタッチする

青色のビジュアルインジケーターが表示されます。

3 希望の操作を発話する

■ 発話で開始する


1 “アレクサ” と発話する

青色のビジュアルインジケーターが表示されません。

- ✎ 発話は “アレクサ” 以外は認識しません。

2 希望の操作を発話する

■ で開始する

1  にタッチする

青色のビジュアルインジケーターが表示されません。

2 希望の操作を発話する


発声した内容に関連するアクションや情報表示をします。

Amazon エンターテイメントを利用する

Amazon Alexa に話しかけることで、Amazon Music、Kindle 本の読み上げ、Audible のオーディオブック、互換性のある第三者コンテンツのサービスを利用できます。

- ✎ 上記のサービスを利用するには、別途契約が必要です。

■ タッチ操作で開始する

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 [Alexa]にタッチする

青色のビジュアルインジケータが表示されま
す。

3 希望のエンターテイメント操作を発話 する

■ 発話で開始する

1 “アレクサ” と発話する

青色のビジュアルインジケータが表示されま
す。

✎ ・発話は“アレクサ”以外は認識しません。

2 希望の操作を発話する

■ 📢 で開始する

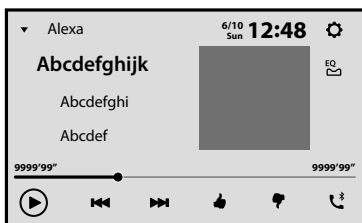
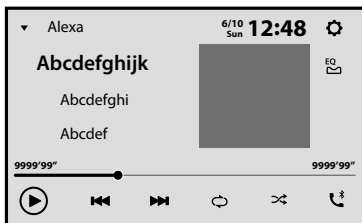
1 📢 にタッチする





青色のビジュアルインジケータが表示されま
す。





2 希望の操作を発話する

発声した内容に関連するアクションや情報表示
をします。

代表画面 (Amazon Music)



	再生を一時停止します。 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
	
	
	前／次の曲を選択できます。

	リピートのオン ⇄ オフを設定しま す。
	ランダム再生と通常再生を切りかえま す。
	現在の曲が「いいね」の場合にタッチ します。
	現在の曲が「好きじゃない」の場合に タッチします。

電話機を操作する

Amazon Alexa に発話することで、本機に
Bluetooth 接続した電話機で、発信および着信に
応答することができます。

電話機能を利用するには、本機に Bluetooth 接続
してください。

✎ ・電話機能を利用する場合、Amazon Alexa は本
機と Bluetooth 接続した電話機の連絡先情報や、
iPhone またはスマートフォンにインストールし
た Amazon Alexa アプリの連絡先情報を利用し
ます。

■ 電話機の連絡先をアップロードする

1 📠 ボタンを押し、画面を左にスワイ プする

2 ⚙️、✖️ の順にタッチする

3 [Amazon Alexa設定]にタッチする



4 [メインメニュー]、[設定]、[連絡先 アップロード]の順にタッチする

5 連絡先をアップロードする電話機を選 択する


連絡先アップロード画面



① 電話機の名称を表示します。

②	連絡先のアップロードステータスを表示します。 [オン]、[はい]の順に選択すると、確認画面から選択した電話機の連絡先をアップロードします。
	電話機を検索します。
	電話機を削除します。

■ タッチ操作で開始する

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 [Alexa]にタッチする


青色のビジュアルインジケーターが表示されます。

3 希望の操作を発話する


■ 発話で開始する

1 “アレクサ” と発話する

青色のビジュアルインジケーターが表示されます。

 ・発話は“アレクサ”以外は認識しません。

2 希望の操作を発話する

 ・電話をかける場合は“XX(連絡先のフリガナ情報)の携帯に電話して(ノケイタイニデンワシテ)”のように発話してください。

■ で開始する


1  にタッチする

青色のビジュアルインジケーターが表示されます。

2 希望のハンズフリー操作を発話する

発声した内容のアクションをします。

Amazon Alexa の設定

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、の順にタッチする

3 [Amazon Alexa設定]にタッチする


a. セットアップ

Amazon Alexa の初期設定をします。

b. メインメニュー

設定	Amazon Alexa を利用するための本機の設定をします。各項目の設定は、「c. 設定」で説明しています。
試してみよう！	Amazon Alexa へ話しかける時の例を表示します。
ヘルプおよびフィードバック	Amazon Alexa のヘルプページやフィードバック送信のページの URL を表示します。
サインアウト	Amazon アカウントのサインアウトを行い、Amazon Alexa の使用を終了します。

c. 設定

連絡先アップロード	本機と Bluetooth ペアリングされている電話機が表示されます。Amazon Alexa に電話機の連絡先をアップロードするかどうかを切り換えます。Bluetooth ペアリングされている電話機がない場合は、検索画面が表示されます。
ハンズフリーリスニング	本機が“アレクサ”という音声に反応して Amazon Alexa を開始するかどうかを設定します。
通知	Amazon Alexa からのお知らせを、知らせるかどうかを設定します。
位置情報の共有	Amazon Alexa のサーバーへ位置情報をアップロードするかどうかを設定します。  ・位置情報をアップロードすると、Amazon Alexa から多くの情報を得ることができます。 ・現在地付近を検索するために、iPhone またはスマートフォンにインストールした Amazon Alexa アプリの位置情報サービスを[オン]にしてください。
リクエスト音(開始時)	Amazon Alexa の聞き取り開始サウンドの再生有無を設定します。
リクエスト音(終了時)	Amazon Alexa の聞き取り終了サウンドの再生有無を設定します。
言語設定	Amazon Alexa を利用するときの言語を設定します。

本機の操作

Alexa スキルを有効にして本機を音声で操作することができます。

詳細については、Amazon ストアの Alexa スキルをご確認ください。



carrozeria スキル 

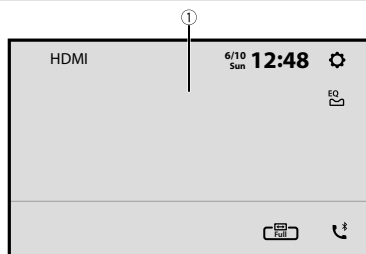
- ① 運転中はビデオ再生はできません。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- ② ご利用前に、本機と外部機器を HDMI 接続してください。
- ③ HDMI (Type-A) で接続するには、HDMI 変換ケーブル (別売) が必要です。接続については「システムの接続」(→ P64) を参照してください。

開始する



- ① **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- ② [HDMI] にタッチする
HDMI 画面が表示されます。

基本操作

代表的な画面






使用する主なタッチキー

①	タッチキーを非表示にします。画面にタッチすると再表示します。  再生時の画面サイズを設定できません (→ P51)。
	画像の拡大方法を切りかえます (→ P51)。

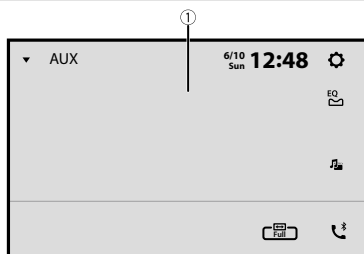
市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続して、映像や音声を再生します。

本機背面の AUX 入力端子に、別売の AV 入力用変換ケーブル (CD-VRM200) を差し込み、外部機器を接続します (→ P64)。



- ①  AUX ソースを ON にするには、システム設定メニューの AUX 入力設定を [オン] に設定する必要があります (→ P54)。

- ① **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- ② 、 の順にタッチする
- ③ [入力/出力設定] にタッチする
- ④ [AUX入力設定] がオンであることを確認する
- ⑤ **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- ⑥ [AUX] にタッチする

代表的な画面



使用する主なタッチキー

①	タッチキーを非表示にします。画面にタッチすると再表示します。
	「音声のみ」と「映像と音声」を切りかえます。
	画像の拡大方法を切りかえます (→ P51)。

便利な機能

バックカメラを使う

別売のバックカメラユニットを接続すると、車両後退時の後方映像を本機のモニターに表示できます。

あらかじめ、バック信号線の接続（→P68）と、カメラ設定（バックカメラ入力、カメラ極性設定、駐車アシスト線表示設定、駐車アシスト線調整）（→P49）を行ってください。

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

1 車両のシフトレバーをR（リバース）の位置にする

バックカメラの映像が表示されます。

- シフトレバーをR（リバース）以外の位置にすると、バックカメラの映像が消えます。

バックカメラを設定する

1 [] ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 []、[] の順にタッチする

3 [カメラ設定] にタッチする

バックカメラの入力を設定する

本機にバックカメラを接続している場合に設定します。

[バックカメラ入力] をタッチするごとに、オン ⇄ オフが切りかわります。

バックカメラの極性を設定する

[カメラ極性設定] をタッチするごとに、High ⇄ Low が切りかわります。

High	車のシフトレバーをR（リバース）にしたときに、バック信号線の極性が+になる場合に切りかわります。
Low	車のシフトレバーをR（リバース）にしたときに、バック信号線の極性が-になる場合に切りかわります。

- バックカメラ入力がオフのときはカメラ極性設定を変更できません。

- バックカメラの映像に正しく切りかわるように、必ずバック信号線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR（リバース）にしても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。

駐車アシスト線の表示を設定する

バックカメラの表示に、駐車アシスト線を表示するかどうかを設定できます。

[駐車アシスト線表示] をタッチするごとに、オン ⇄ オフが切りかわります。

駐車アシスト線を調整する

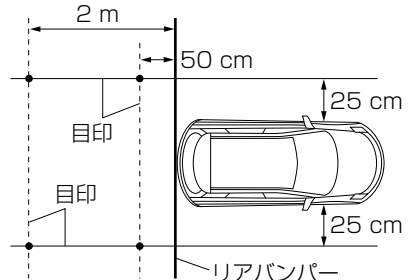
バックカメラに表示する駐車アシスト線を調整できます。

パーキングブレーキが解除されている場合は操作できません。安全な場所に車を停めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

[バックカメラ調整] の ◀ / ▶ / ▲ / ▼ / ◀▶ / ▶◀ にタッチして調整します。

初期値にタッチすると、設定が初期値に戻ります。

- 駐車アシスト線を調整するときは、必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- 車から降りて確認する場合は、必ず、エンジンスイッチをOFFにしてください。
- バックカメラ画像に表示される駐車アシスト線は、実際の車幅と距離と異なる場合があります。駐車アシスト線は直線で表示されます。
- 夜間や暗い場所などでは、バックカメラに表示される画像が見にくい場合があります。
- 駐車アシスト線を設定する前に、梱包テープなど以下の位置に目印をつけると設定しやすくなります。



リアモニターを使う

本機に別売のリアモニターを接続すると、映像ソースを後部座席でも楽しめます。

リアモニターに出力できる映像は、以下の映像です。音声だけのソースを再生しているときは何も出力されません。

- ・ USB 機器内の動画ファイルの映像
- ・ AUX

- ② タッチキーや操作画面は表示されません。
- ・ 走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。
- ・ Browser と Apple.CarPlay、Android.Auto を同時に利用する場合は、Browser が 前面に表示されている場合のみリアモニターに Browser が表示されます。
- ・ Browser が前面に出ていない場合、リアモニターは黒画面表示になります。

■ リアモニターの設置場所について

リアモニターには、パーキングブレーキの ON/OFF に関係なく映像が出力されます。リアモニターは、走行中に運転者が映像を見ることができない位置に設置してください。

ディマー設定をする

- 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 、 の順にタッチする
- 3 [ディマー設定]にタッチする

■ ディスプレイの明るさを調節する

- 1 [明るさ切替]にタッチする
- 2 設定を選んでタッチする

オート	クルマのライトに連動して明るさを自動で切りかえます。
マニュアル	明るさを昼と夜で切りかえます。[昼]と[夜]を切りかえます。
ディマー時間連動	明るさを指定した時刻で切りかえます。

■ 昼夜でディマーを切りかえる

昼夜でディマーを切りかえる場合に設定します。

- 1 [昼/夜 切替]にタッチする
- 2 設定を選んでタッチする

昼	ディマー機能をオフにします。
夜	ディマー機能をオンにします。

- ② 設定するには、[明るさ切替]を[マニュアル]に設定する必要があります(→P50)。

■ ディマーの切りかえ時間を設定する

ディマーの切りかえ時間を設定します。

- 1 [ディマー時間設定]にタッチする
 - 2 [オン]または[オフ]にタッチする
切りかえ時間は 15 分刻みで設定できます。
 - 3 カーソルをドラッグするか、◀▶にタッチして、切りかえ時間を設定する
- ② 切りかえ時間を設定するには、ディマー設定で [ディマー時間連動] に設定する必要があります(→P50)。
 - ・ カーソルが同じポイントに置かれている場合、切りかえ時間は 0 時間です。

カスタムメニューを使う

任意のメニュー項目を選択し、カスタムメニューとして登録できます。よく使うメニュー項目を登録すると便利です。カスタムメニューのタッチキーは各ソースの設定画面にも表示されますので、お好みの設定画面へのアクセスを短縮できます。

■ 登録／削除する

- 1 登録したい項目を表示させる
- 2 登録したいメニュー項目の☆マークにタッチする
☆マークが★に変わり、登録済みであることを示します。

- ② 登録を取り消すには、もう一度☆マークにタッチします。カスタムメニュー画面で登録を削除するには、メニュー項目を長くタッチします。
- ・ 12 項目登録できます。

■ 登録したメニューを使う

- 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 にタッチする
カスタムメニューが表示されます。
- 3 登録したメニューにタッチする

ワイド画面の拡大方法を切りかえる

映像ソース選択時に、映像の拡大方法を切りかえます。



1 にタッチする


2 切りかえたいモードにタッチする

JPEG 以外：Full、Zoom、Normal を切りかえます。

JPEG : Normal、Trimming を切りかえます。


各モードの説明

Full (フル)	画面いっぱいになるように映像を引き延ばして表示します。  ・映像によっては、全画面表示にならない場合があります。
Zoom (ズーム)	画像を上下に拡大して表示します。
Trimming (トリミング)	画像縦横比率を維持したまま、画面一杯になるように引き伸ばして表示します。画面と画像の縦横比率が異なると、映像の一部がカットされて表示されます。  ・JPEG のみ対応します。
Normal (ノーマル)	画像縦横比を維持したまま表示します。

-  ・ワイドモードの設定内容は、映像を持つソースごとに保持されます（ただし、JPEG 画像では前回選んだモードは保持されません）。
- ・ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- ・営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切りかえ機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き延ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ステアリングリモコン設定

別売のステアリングリモコンアダプターまたはステアリングリモコンケーブルを使用する場合に設定します。

-  ・対応ケーブルについて詳しくは、弊社ホームページでご確認ください。
(https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/steering_remotecontrol/)

1 ソースをOFFにする。

2 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

3 、 の順にタッチする

4 [ステアリングリモコン設定]にタッチする

アダプター	別売のステアリングリモコンアダプターを使用する場合に選択します。
学習	別売のステアリングリモコンケーブルを使用する場合に選択します。

アダプターを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。

学習を選択した場合は、手順 4 に進みます。

5 車両のステアリングスイッチに登録する機能にタッチする

6 機能を登録する車両のステアリングスイッチのキーを長く押す

指定した機能が登録されます。

他の機能を登録する場合は、手順 4～5 を繰り返します。

ステアリングリモコンを操作するメッセージが表示されたら、メッセージにしたがって操作してください。

7 にタッチする

設定が終了します。

画像の画質を調整する

各ソースおよびバックカメラ画像の画質を調整します。

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 [画質調整]にタッチする

- カメラによっては調整ができない場合があります。
- 映像信号設定が「NTSC」以外は、色合いの調整はできません。

- ▲ / ▼ にタッチすると、調整項目が切りかわります。

黒の濃さ	明暗を調整します。 - 24 (明) ~ 24 (暗) の範囲で調整できます。
コントラスト	白黒の差を調整します。 - 24 (差が減少) ~ 24 (差が増大) の範囲で調整できます。
色の濃さ	濃淡を調整します。 - 24 (淡) ~ 24 (濃) の範囲で調整できます。
色合い	赤色と緑色のバランスを調整します。 - 24 (赤) ~ 24 (緑) の範囲で調整できます。
明るさ	周囲の明るさに合わせた明るさの調整をします。 1 (暗) ~ 48 (明) の範囲で調整できます。
色温度	暖色系と寒色系のバランスを調整します。 - 3 (暖色系) ~ 3 (寒色系) の範囲で調整できます。

- 運転中は画質調整の操作はできません。
- 黒の濃さ、コントラスト、明るさは、イルミネーションのオン/オフに応じ、個別に設定ができます。

システム情報について

本機のバージョンを確認したり、バージョンアップをすることができます。

- ボタンを押し、画面を左にスワイプする

- 設定、閉じるの順にタッチする

- [システム情報]にタッチする

ソフトウェアのバージョンを調べる

本機のファームウェアのバージョンを表示します。

- [ファームウェア情報]にタッチする

本機のファームウェアのバージョンが表示されます。

ソフトウェアを更新する

USB メモリーを接続して、本機のファームウェアのバージョンを更新します。

CarAVAssist を使って更新することもできます (→ P29)。

ファームウェアについての情報や更新についての詳細は、パイオニアのホームページをご覧ください。

- 更新作業中は、本機の電源を OFF にしないでください。
- 走行中は操作できません。必ず、パーキングブレーキをかけてから操作をしてください。

- アップデートファイルを格納した USB メモリーを、付属の USB 延長ケーブルを使って接続する

- [ファームウェアバージョンアップ]にタッチする

- [USB]にタッチする

- メッセージを確認後、[次へ]にタッチする

- メッセージを確認後、[開始]にタッチする

画面の指示に従い、ファームウェアを更新します。

完了すると「アップデートが完了しました。」と表示され本機は再起動します。

学習ステータスを確認・削除する

センサーの学習ステータスを確認します。現在のセンサー値と速度パルスの総数を確認できます。

- [センサー学習状況]にタッチする

学習ステータスを確認します。

[トリップ]または[パルス数]を削除する場合は手順2に進みます。[センサー学習]をリセットする場合には手順3に進みます。

- [トリップ]または[パルス数]にタッチして、[はい]にタッチする

- [センサー学習]にタッチする

距離学習リセット	トリップに保存されているすべての学習結果を消去します。
オールリセット	学習ステータスが削除されません。



・位置、角度を変更した後、[オールリセット]にタッチして、センサーをリセットします。

■ リード線の接続を確認する

リード線が本機と車両に正しく接続されていることを確認できます。

1 [接続状態]にタッチする

GPS アンテナ	GPS アンテナの接続状態と受信感度を表示します。 OK: 正しく接続されている 未接続: 接続が正しくない
測位状態	測位状態 (2次元測位、3次元測位、未測位)、または測位に使用される衛星の数 (オレンジ)、および信号を受信した衛星の数 (黄色) を表示します。4つ以上の衛星からの信号を受信した場合、現在の位置を測定できます。
取付位置	本機が正しく設置されているかを表示します。 OK: 正しく設置されている 取付角度許容範囲外: 本機の設置角度の制限を超える極端な角度で設置されている 振動許容範囲外: 本機がしっかりと固定されていない
車速パルス	本機で検出した速度パルス値を表示します。
バック信号	シフトレバーを「R」(リバース位置) にすると、信号がHIGHまたはLOWに切りかわります。表示される信号は、車種によって異なります。



・受信状態が悪い場合は、GPS アンテナの設置位置を変更してください。

■ ライセンスを確認する



1 [ライセンス] にタッチする






本機に使われているライセンスを確認できます。


各種設定

設定画面では、各種の設定をすることができます。

設定画面を表示する

- 1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2  にタッチする
- 3 設定したい項目にタッチする

	システム設定
	テーマ設定
	オーディオ設定
	ビデオ設定
	通信設定

-  パーキングブレーキが解除されている場合、一部機能は操作できません。安全な場所に車を停めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

システム設定

AV ソース設定

[ラジオ設定] (→ P34)

[Bluetooth Audio] (→ P25)

操作音 (→ P54)

Amazon Alexa 設定 (→ P46)

入力／出力設定

[USB MTP] (→ P54)

[AUX 入力設定] (→ P54)

カメラ設定

[バックカメラ入力] (→ P49)

[カメラ極性設定] (→ P49)

[駐車アシスト線表示] (→ P49)

[バックカメラ調整] (→ P49)

デモモード (→ P55)

ステアリングリモコン設定 (→ P51)

設定初期化 (→ P55)

時刻設定 (→ P55)

ディママー設定

[明るさ切替] (→ P50)

[昼／夜切替] (→ P50)

[ディママー時間設定] (→ P50)

画質調整 (→ P51)

システム情報

[ファームウェア情報] (→ P52)

[ファームウェアバージョンアップ]

(→ P52)

[センサー学習状況] (→ P52)

[接続状態] (→ P53)

[ライセンス] (→ P53)

利用規約 / プライバシーポリシー

「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」を表示します (→ P28)。

■ 操作音を設定する

操作音を出すか、出さないかを設定できます。

1 システム設定メニュー (→P54)の [操作音] にタッチする


タッチすることにより、オン ⇄ オフが切りかわります。

■ USB MTP を設定する

1 システム設定メニュー (→P54)の [入力／出力設定] → [USB MTP] にタッチする

2 設定を選んでタッチする

オフ	スマートフォンで Android Auto を使用するときを設定します。
オン	スマートフォンを MTP 接続モードで使用するときを設定します。

-  MTP 接続は、お使いになる USB 機器側で MTP 接続モードへの切りかえが必要ことがあります。モードの切りかえ方法については、お使いになる USB 機器の説明書をご覧ください。
- オンに設定している場合は、Android Auto はご使用になれません。

■ AUX 入力を設定する

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を本機の AUX 入力端子に接続した場合、オンに設定します。

1 システム設定メニュー (→P54)の [入力／出力設定] → [AUX入力設定] にタッチする

タッチすることにより、オン ⇄ オフが切りかわります。

-  オフのときは AUX ソースが選択できません。

■ デモモードを設定する

デモを表示するか、表示しないかを設定します。

1 システム設定メニュー (→P54)の [デモモード] にタッチする

タッチすることにより、オフ ⇄ オンが切りかわります。通常はオフにします。

■ 設定の初期化

1 システム設定メニュー (→P54)の [設定初期化] にタッチする

2 [初期化] にタッチする

設定が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は事前に控えておいてください。

■ 時計の設定

時刻と時計の表示を設定します。

- 時刻を表示させるには GPS アンテナの接続、または Wi-Fi 接続が必要です。

1 システム設定メニュー (→P54)の [時刻設定] にタッチする

2 [月/日] を選ぶ

日/月/年	左から日、月、年 (西暦) の順に表示します。
月/日/年	左から月、日、年 (西暦) の順に表示します。
年/月/日	左から年 (西暦)、月、日の順に表示します。

3 [時計表示] を選ぶ

[12H]	12 時間表示
[24H]	24 時間表示

4 [タイムゾーン] を選ぶ

[タイムゾーン]	+/- にタッチして、タイムゾーンを [UTC -12.0h] ~ [UTC + 14.0h] の範囲で調節します。
----------	--

5 [サマータイム] を選ぶ

[サマータイム]	オン、オフ
----------	-------

6 [X] にタッチする

前の画面に戻ります。

- 時計のデザインの変更は「時計のデザインを設定する」(→P56)をご覧ください。

🔍 テーマ設定

壁紙やイルミネーションの設定など、画面のカスタマイズを行います。

壁紙 (→P55)

イルミネーション (→P55)

テーマ設定 (→P56)

時計 (→P56)

ホーム画面 UI カスタマイズ (→P16)

■ 壁紙を設定する

プリセットの壁紙もしくはオリジナル画像を接続機器から取り込んで、壁紙として設定することができます。

壁紙はホーム画面と AV ソースの操作画面に設定することができます。


- 壁紙の設定は Bluetooth 接続機器ごとに設定が保存されます。壁紙は、本機に接続される Bluetooth 機器によって変わります。

1 [壁紙] にタッチする

2 [ホーム] または [AV] にタッチする

ホーム画面と AV ソースの操作画面のどちらを設定するのかが選択します。

3 壁紙を切りかえる

既定画像	本機にすでに設定されている壁紙を選択します。
 (custom)	USB 機器から取り込んだ画像を選択します。
OFF (off)	壁紙を非表示にします。


■ ボタンのイルミネーションを設定する

1 [イルミネーション] にタッチする

2 設定を選んでタッチする

5 種類の固定色、カスタムカラー、レインボーから選択できます。

既定色
すでに設定されている色から選びます。

 カスタムカラー
タッチするとカラーバーが表示されます。◀ / ▶ またはカラーバーをドラッグして希望の色を選択します。

[メモ] を長くタッチすると、その時点の色を保存します。もう一度、[メモ] にタッチすると、保存した色を呼び出します。

🎨 レインボー

タッチすると色が自動で切りかわるモードに設定されます。

- レインボーを選択中にカスタムカラーのアイコンにタッチすると、その時点で色の変化が止まり、その色を元に調整できます。

■ 画面の色を変更する

1 [テーマ]にタッチする

2 設定を選んでタッチする

5種類の色から選択できます。

- ホームまたは AV にタッチすると、画面のプレビューをトップメニューとソース画面を切りかえて見比べることができます。

■ 時計のデザインを設定する

1 [時計]にタッチする

2 [ホーム]または[AV]にタッチする

ホーム画面と AV ソースの操作画面のどちらを設定するかを選択します。

3 設定を選んでタッチする

OFF (時計を表示しない) は、手順 2 で [AV] を選択した場合のみ表示されます。

🔊 オーディオ設定

音量バランスやイコライザーなどの、オーディオに関する設定を行います。

フェーダー／バランス^(*) (→ P56)

バランス^(*)2*3) (→ P56)

ラウドネス (→ P56)

ソースレベルジャスター (→ P57)

マスターサウンドリバイブ (→ P57)

スピーカー出力レベル (→ P57)

リスニングポジション (→ P58)

タイムアライメント (→ P58)

イコライザー (→ P58)

サブウーファー (→ P59)

カットオフ (→ P59)

バスビートブラスター (→ P60)

リアスピーカー出力 (→ P60)

ミュート設定 (→ P60)

サブウーファー設定

サブウーファーを設定できます。(カットオフと同じ画面を表示します。)

設定値の保存 (→ P60)

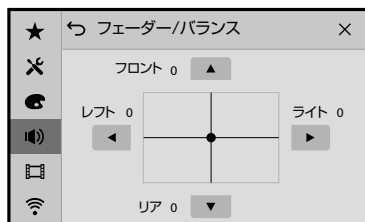
設定値の読み出し (→ P60)

- FM ラジオを聞いているときは、ソースレベルアジャスターは操作できません。
- *1 が付いている項目はスピーカーモードがスタンダードモード (STD) 時にしか表示されません。
- *2 が付いている項目はスピーカーモードがネットワークモード (NW) 時にしか表示されません。
- *3 が付いている項目は [リアスピーカー出力] が [サブウーファー] の時にしか表示されません。

■ 前後左右の音量バランスを調節する

1 [フェーダー／バランス]にタッチする

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ にタッチする



フロント、リア、レフト、ライトのバランスを調節できます。

調節できる範囲は、0 ~ 25 です。

- オーディオ設定メニューでリアスピーカー出力が「サブウーファー」に設定されているときは、前後のバランス調整はできません (→ P60)。
- スピーカーモードが「ネットワークモード」に設定されているときは、前後のバランス調整はできません (→ P11)。

■ 小さな音を聞きやすくする

1 [ラウドネス]にタッチする

2 効果を選んでタッチする



オフ / Low (低) / Mid (中) / High (高)

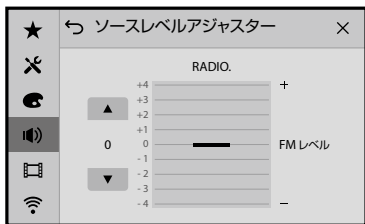
■各ソースの音量をそろえる

✎ ソースが FM ラジオのときは設定できません。

1 調節するソースを選択する (→P32)

2 [ソースレベルアジャスター]にタッチする

3 ▲/▼にタッチする



ソースレベルアジャスターのレベルを調節できます。

調節できる範囲は、+ 8 dB (+ 4 Step) ~ - 8 dB (- 4 Step) です。

✎ 以下は同じ設定になります。

- AM と交通情報
- USB 機器と iPhone(USB 接続時)、スマートフォン連携機能での音声
- Bluetooth Audio と iPhone(Bluetooth 接続時)

■マスターサウンドリバイブを利用する

マスターサウンドリバイブは、CD 音質や圧縮音源のノイズを除去し、圧縮時に失われた情報を付加して再生する機能です。ハイレゾオーディオ相当の音質に変換して再生します。

1 [マスターサウンドリバイブ] にタッチする

オフ、モード1、モード2から選択できます。

オフ	補正しません。
モード1	CD 音質またはビットレートが 256kbps 以上の圧縮音源に適しています。
モード2	ビットレートが 256kbps 未満の圧縮音源に適しています。

■スピーカーの出力レベルを調整する

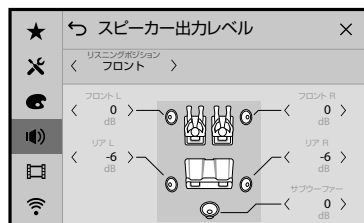
[スピーカー出力レベル]の設定は[サブウーファー]の[スピーカー出力レベル]の設定を[オン]にしている時に可能になります。

[スピーカー出力レベル]の設定は、[リスニングポジション]の設定と、各スピーカーの設定があります。

リスニングポジションごとに、スピーカーの出力レベルを設定できます。

1 [スピーカー出力レベル]にタッチする

2 </>にタッチする



各スピーカーの設定

調整できる範囲は、- 24dB ~ 10dB です。

調整するスピーカーは、以下のように表示されます。

スピーカーモードが STD の場合

フロントL、フロントR、リアL、リアR、サブウーファー

スピーカーモードが NW の場合

ハイL、ハイR、ミッドL、ミッドR、サブウーファー

■リスニングポジションを選ぶ

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション（聞く位置）を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。

1 [リスニングポジション]にタッチする

2 リスニングポジションを選んでタッチする



フロントL	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
フロントR	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
フロント	同乗者が助手席にいるとき
All	同乗者が後部座席にいるとき
オフ	設定をオフにするとき

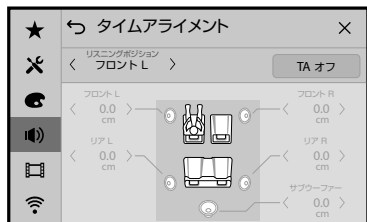
- スピーカーモードが「ネットワークモード」に設定されているときは、[All]は選択できません（→P11）。
- リスニングポジションの設定が変更されると、スピーカー出力レベルの設定も変更されます。
- リスニングポジションの設定を変更すると[タイムアライメント]の設定も変更されます。

■タイムアライメントを調整する

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。

1 [タイムアライメント]にタッチする

2 [TAオン]または[TAオフ]にタッチする



タッチすることにより、TA オフ ⇄ TA オンが切りかわります。

タイムアライメントを有効にするには、TA オンを選択してください。

3 画面左上の[リスニングポジション]の < または > にタッチして、[フロントL]または[フロントR]を選ぶ

タイムアライメントを調整するには、フロントLまたはフロントRを選択してください。

- スピーカーモードが[ネットワークモード]に設定されているときは[All]は選択できません。
- リスニングポジションの設定が変更されると、スピーカー出力レベルの設定も変更されます。

4 調整したいスピーカーの < / > にタッチする

タッチすることにより、スピーカーの距離が0 cm ~ 490.0 cmの間で、1.4 cm単位で切りかわります。

5 手順4を他の調整したいスピーカーに対して行う

- 他のオーディオメニューの設定項目において、そのスピーカーが有効にされていないときは調整できません。
- オーディオ設定メニューでサブウーファースのオン/オフの設定が[オフ]に設定されているときは、「サブウーファー」は調整できません（→P59）。

■イコライザーを使う

音質を手軽に調整する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、音質を手軽に調整できます。

にタッチしても設定できます。

以下からお好みのカーブを選びます。

S.Bass (Super Bass)	低域が厚みを持ち、迫力ある重低音が響きます。
Powerful	低域と高域が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
Vocal	中高域が厚みを持ち、伸びやかなヴォーカルを際立たせます。
Flat	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切りかえて、イコライザーの効果を確認するときに使用してください。

Custom1 Custom2	お好みに合わせて調整できます。 [Custom1]、[Custom2]共に、すべてのソースに共通のイコライザーカーブとして登録されます。
Dynamic	ダイナミックな音を再生します。
Vivid	ビビッドな音を再生します。

イコライザーカーブを細かく調整する

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数ごとにレベルを調整できます。

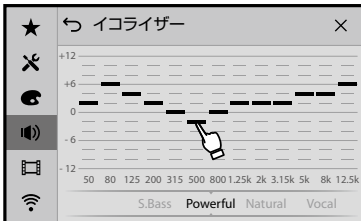
- [Custom2]以外のカーブを選んでいるときに調整すると、自動的に[Custom1]に登録されます。
- [Custom2]を選んでいるときに調整すると、[Custom2]の調整内容が更新されます。

1 [スピーカー]にタッチする

2 [イコライザー]にタッチする

3 調整したいカーブS.Bass ~ Custom2にドラッグする

4 調整する周波数のバーを移動して調整する



調節できる範囲は、+ 12 dB ~ - 12 dB (2 dB/ステップ) です。

■ サブウーファースのオン/オフを設定する

1 [サブウーファー]にタッチする

タッチすることにより、オン ⇄ オフが切りかわります。

■ カットオフ周波数、スロープを設定する

カットする起点となる周波数を選択します。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。またそのカットの緩急を傾斜(スロープ)で設定します。

ある周波数から下の音域をカットし、上の音域を出力するフィルターをハイパスフィルター(HPF)と呼び、逆にある周波数から上の音域をカットし、下の音域を出力するフィルターをローパスフィルター(LPF)と呼びます。

[カットオフ]のサブウーファー設定は[サブウーファー]の設定を[オン]にしている時に可能になります。

1 [カットオフ]にタッチする

2 </>にタッチする

タッチするたびに、調整するスピーカーが以下のように切りかわります。

スピーカーモードが STD の場合

サブウーファー ⇄ フロント ⇄ リア

フロント、リア：HPF が設定できます。

サブウーファー：LPF が設定できます。

スピーカーモードが NW の場合

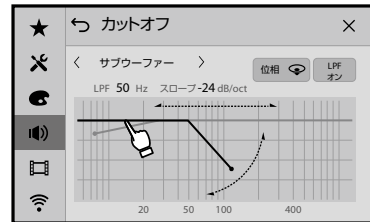
サブウーファー ⇄ Mid HPF ⇄ Mid LPF ⇄ High

High：HPF が設定できます。

Mid：HPF と LPF が設定できます。

サブウーファー：LPF が設定できます。

3 周波数カーブをドラッグする



各スピーカーのカットオフ周波数が調整できます。

4 周波数カーブの下端のポイントをドラッグする



各スピーカーのスロープを設定します。傾きが急なほどその音域のカットが鋭くなります。

- オーディオ設定メニューでサブウーファースのオン/オフの設定が[オフ]に設定されているときは、「サブウーファー」は調整できません(→P59)。

位相を切りかえる

サブウーファー、およびスピーカーモードが STD の場合はフロント／リア、NW の場合の High/Mid の位相を切りかえることができます。フロント／リアまたは High/Mid スピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分も含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合い音量が上がらないことがあります。このような場合は、位相を正相または逆相に切りかえてみて、聴感上で良いと感じる方に設定してください。

「位相」にタッチして切りかえます。

 ノーマル（正相）	フロント／リアまたは High/Mid スピーカーと同時に音が出力されます。
 リバース（逆相）	フロント／リアまたは High/Mid スピーカーとタイミングをずらして音が出力されます。

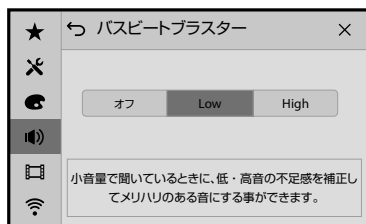
LPF/HPF のオン／オフ

「LPF/HPF」にタッチして、[オン]または[オフ]を切りかえます。

■低い音を強調する

1 [バスビートプaster]にタッチする

2 レベルを選んでタッチする



バスプasterのレベルを調節できます。
調節できる範囲は、オフ、Low、High です。

■リアスピーカー出力を設定する

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選べます。

1 ソースをオフにする

2 [リアスピーカー出力]にタッチする

タッチすることにより、リア ⇄ サブウーファーが切りかわります。

リア	リアスピーカーを接続する場合に切りかわります。
サブウーファー	サブウーファーを接続する場合に切りかわります（リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます）。



- 再生するコンテンツの音声フォーマットによってはサブウーファー出力がされない場合があります。
- オーディオ設定メニューのサブウーファーのオン／オフの設定を [オン] にしていないと、サブウーファーの出力はされません（→ P59）。
- リアスピーカーの RCA 出力、リード線出力とも、同時に変更されます。

■ミュートを設定する

AV、iPhone、スマートフォンのガイダンス再生時のソース音量を設定します。

ATT	現在の音量より 10 dB 低くなります。
ミュート	消音します。
オフ	現在の音量を変更しません。

■オーディオ設定を保存する

調節した設定を保存できます。

次の設定を保存できます：

- 「イコライザー」
- 「スピーカー出力レベル」
- 「リスニングポジション」
- 「カットオフ」
- 「タイムアライメント」

1 [設定値の保存]にタッチする

2 [OK]にタッチする

■保存したオーディオ設定を読み出す

1 [設定値の読出し]にタッチする

2 [保存したサウンド設定読出し]にタッチする

サウンド設定を読み込みました。と表示されます。



- 「サウンド設定初期化」にタッチすると、初期設定値を読み込みます。保存した設定は削除されません。

ビデオ設定

ビデオに関する設定を行います。

スライドショー設定

希望の時間にタッチします。

5 秒	表示間隔時間を 5 秒に設定します。
10 秒	表示間隔時間を 10 秒に設定します。
15 秒	表示間隔時間を 15 秒に設定します。
手動設定	表示間隔時間を手動で設定します。



- キー操作で画像を切りかえたいときは、[手動設定] を選びます。
- 「スライドショー設定」は JPEG 画像の再生時のみ設定できます。

映像信号設定

RCA 映像／音声入力端子や AUX 入力端子に接続する外部機器やバックカメラに合わせて映像信号を固定したい場合に設定します（通常はオートのままでお使いください）。

映像信号設定にタッチすると、以下のメニューが表示されます。

AUX	AUX ソースの映像信号を設定します (→ P54)。
バックカメラ	カメラの映像信号を設定します (→ P49)。

AUX、バックカメラのそれぞれのソースに対して、以下の中から設定できます。

オート	設定の判別を自動で行う場合
PAL	PAL 形式に固定する場合
NTSC	NTSC 形式に固定する場合
PAL-M	PAL-M 形式に固定する場合
PAL-N	PAL-N 形式に固定する場合
SECAM	SECAM 形式に固定する場合

通信設定

通信に関する設定を行います。

機器登録／削除	Bluetooth 接続する機器の登録／削除をします (→ P18)。
Bluetooth 設定	Bluetooth 接続に関する詳細設定をします (→ P19)。
Wi-Fi 設定	Wi-Fi 接続に関する詳細設定をします (→ P27)。
運転席位置	ハンドル位置の設定をします (→ P41)、(→ P42)。
Android Auto オート起動	Android の自動接続設定をします (→ P42)。

接続・取り付け

接続・取り付け上のご注意

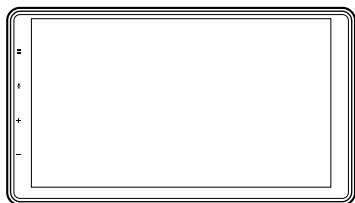
- ・接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- ・車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する

■ 本体関係

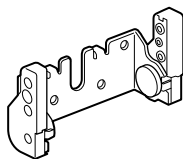
SF700

本体 × 1



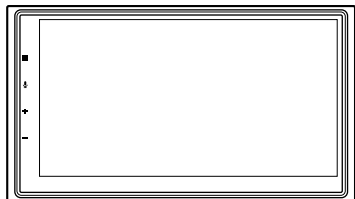
* 本体とディスプレイに分かれています。

ディスプレイ取付ブラケット × 1



SZ700

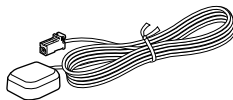
本体 × 1



ハンズフリー通話用マイク × 1



GPS アンテナ × 1

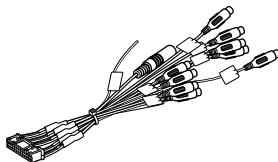


■ コード関係

電源コード × 1



RCA 入出力ケーブル × 1



USB Type-C ケーブル × 1



USB 変換コネクタ × 1



■ ネジ

SF700

皿ネジ (5 mm × 8 mm) 6 個

バインドネジ (5 mm × 8 mm) 6 個

バインドネジ (4 mm × 6 mm) 4 個

バインドネジ (4 mm × 12 mm) 4 個

セレーション付ネジ (2 mm × 4 mm) 4 個

* セレーション付ネジ 2 個は予備ネジです。

SZ700

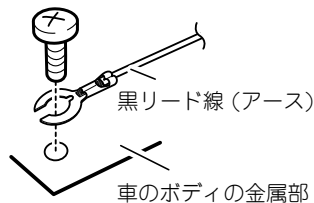
皿ネジ (5 mm × 9 mm) 4 個

トラスネジ (5 mm × 9 mm) 4 個

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチに ACC が無い車では使用できません。必ず、エンジンスイッチに ACC がある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗します。
- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機のアンプには BTL という回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。

- ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、必ず本機の青/白リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続を忘れるとラジオ放送の受信ができません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります（ラジオが ON にならないと、ブースターが ON にならない車もあります）。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ 接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコード、および電源リード線などと束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。
- ノイズ防止のため、次のものは本機や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * FM/AM アンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPS アンテナおよびそのアンテナコードそれぞれのアンテナコードどうしでもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

電源配線キットを別売しています

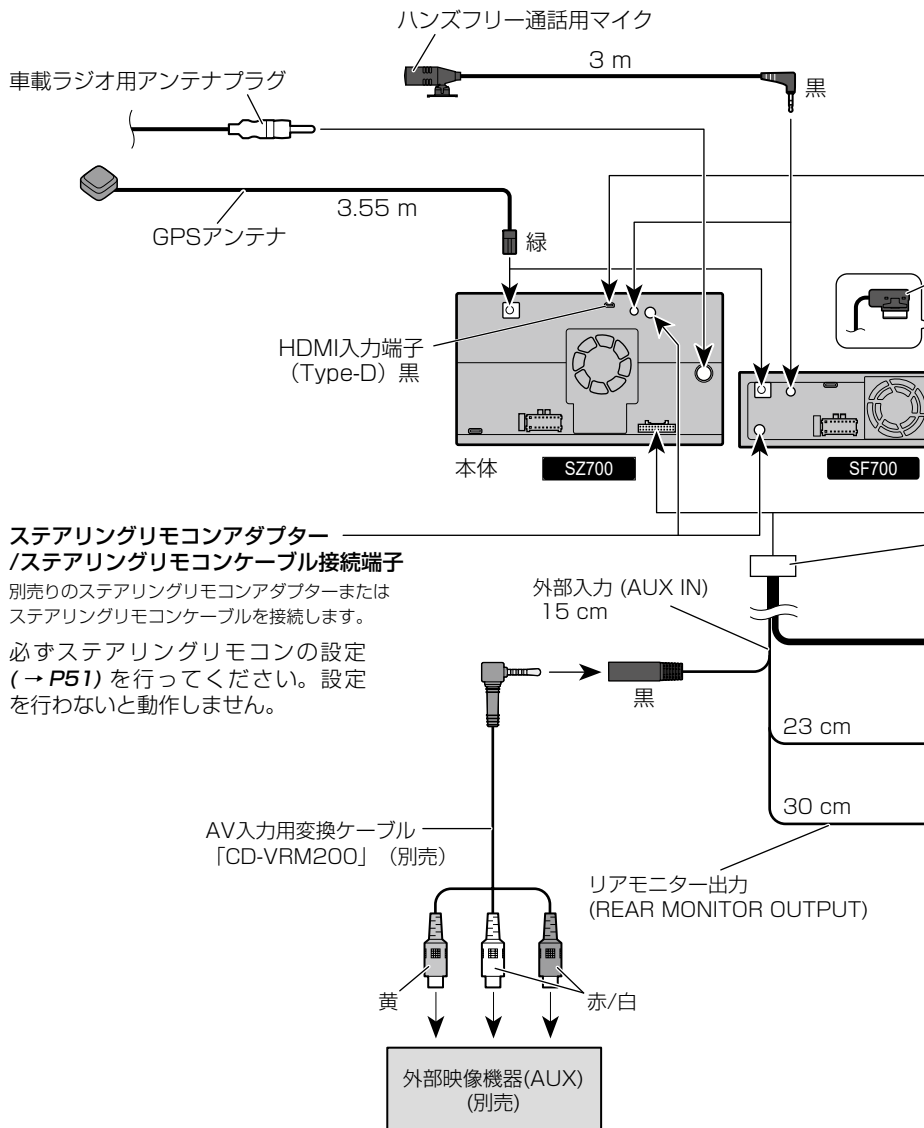
- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源を取ることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■ コネクタ着脱のポイント

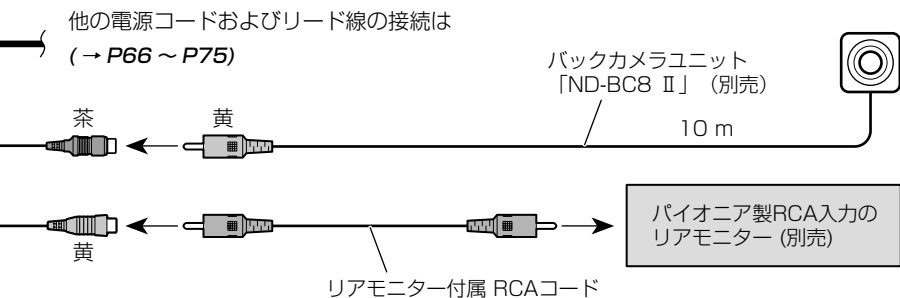
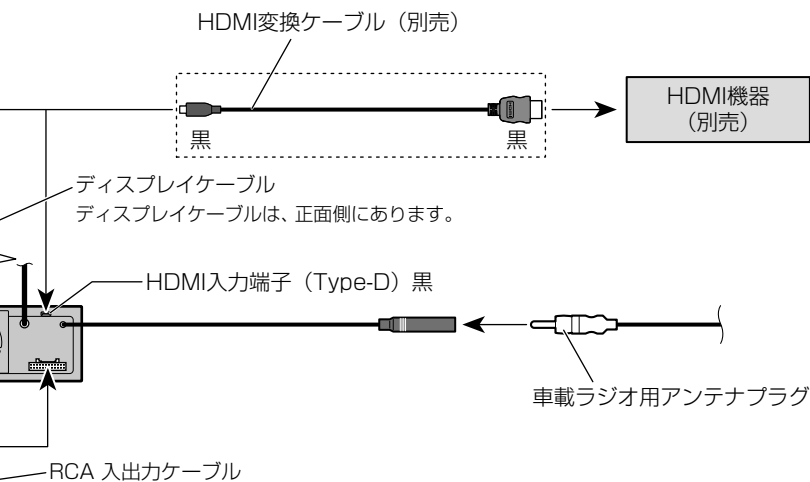
- コネクタは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクタを外すときは、コネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

システムの接続

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 本機に外部映像機器を接続したときは、システム設定メニューの「AUX 入力設定」を [オン] に設定してください (→ P54)。



⚠ 注意

- 接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。
- パイオニア製以外のモニターを接続した場合は画像が乱れる場合があります。また、フロントモニターに表示される映像と画質は異なります。

電源コードの接続 (1)

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ず最初に接続してください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

黒 39 cm

+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

黄 23 cm

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

赤 16 cm

イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

橙/白 13 cm

アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)以下車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

青/白 13 cm

8 cm

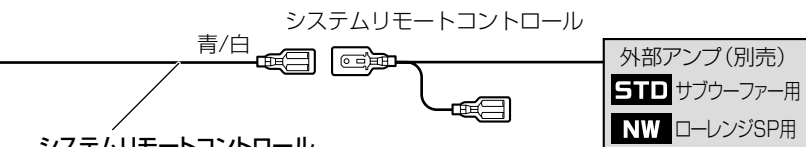
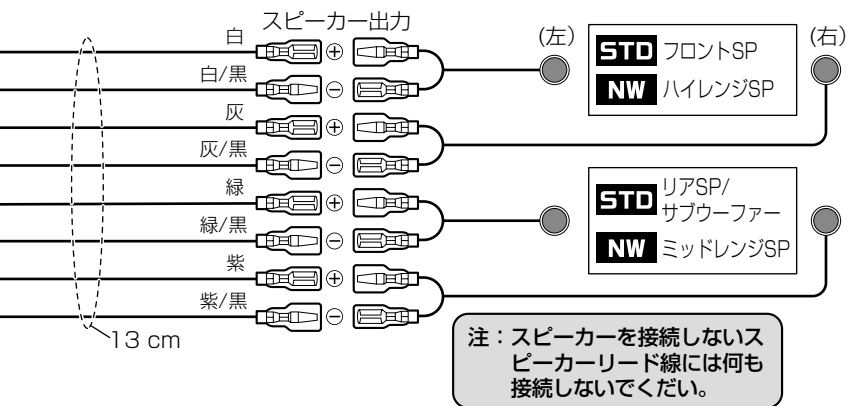
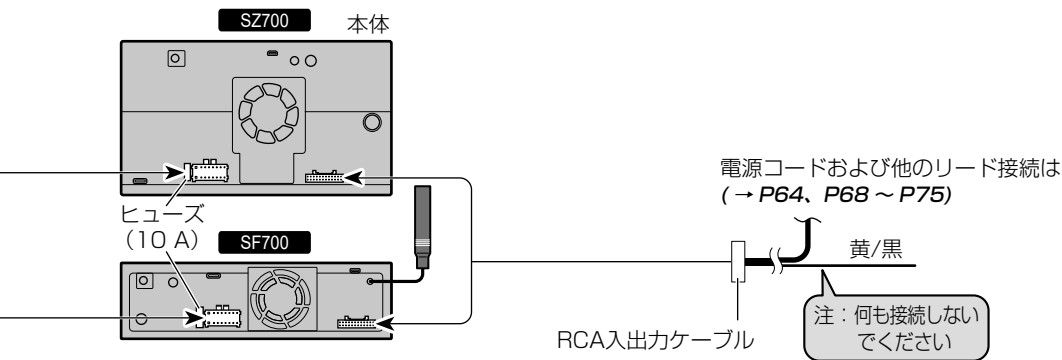
- オートアンテナ車の場合：車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

※ 車載のアンテナがオートアンテナの場合、ACC電源に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

- ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車の場合：車側のアンテナプースターの電源入力端子に接続してください。

注：赤、橙/白、黄リード線は車のヒューズユニットを通したあとの端子に接続してください。

電源コードおよび他のリード接続は (→ P64、P68～P75)



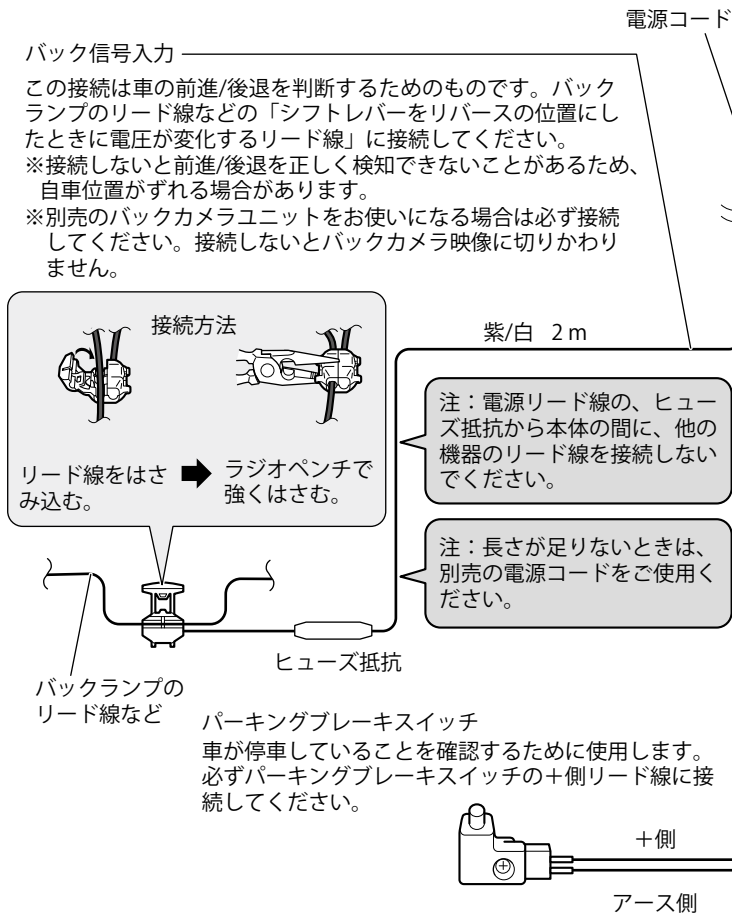
システムリモートコントロール
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

STD :スピーカーモード設定がスタンダードモードのとき

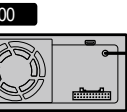
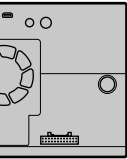
NW :スピーカーモード設定がネットワークモードのとき

電源コードの接続 (2)

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



00 本体



車のインジェクション
コンピューター



市販のエレクトロタップ(配線コネクター)



車速信号

- ・車の走った距離を検出するために使用します。
- 必ず車の車速検出回路に接続してください。

車速検出回路
のリード線

ピンク 2m (線径: AVS 0.3sq/AWG 22)

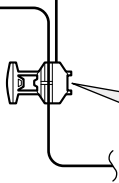
注: 必ず電源コード側と車両側の車速検出回路リード線の線径に合ったエレクトロタップ(配線コネクター)を使用してください。
線径が合っていない物を使用すると接触不良の原因となります。

電源コードおよび他のリード線の接続は

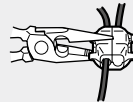
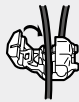
(→ P64 ~ P66, P70 ~ P75)

インジェクションコンピューターの車速検出回路の位置および車速検出回路リード線の線径は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パーキングブレーキコード
/ 若草色 2m



接続方法

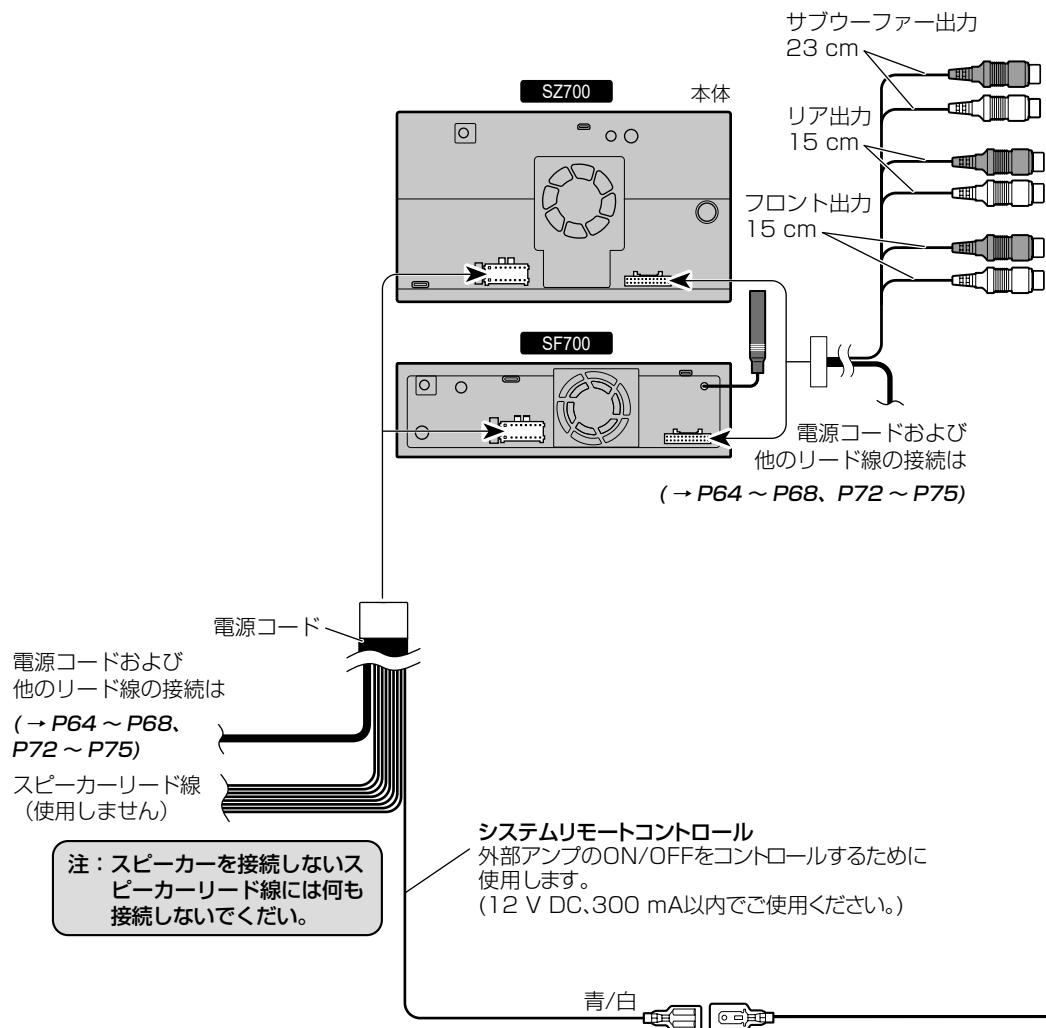


パーキングブレーキ
スイッチの+側リー
ド線をはさみ込む。

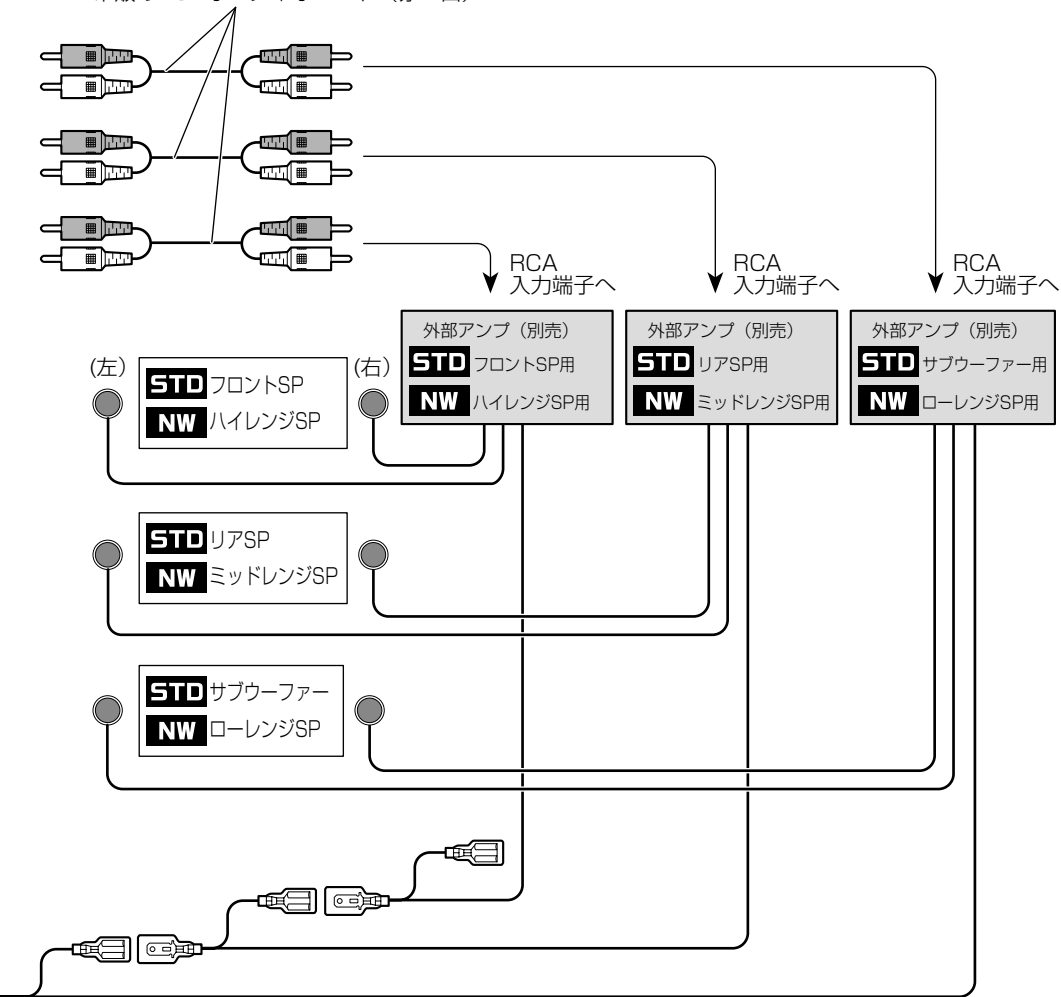
ラジオペンチで
強くはさむ。

外部アンプの接続

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



市販のRCAオーディオコード（赤・白）

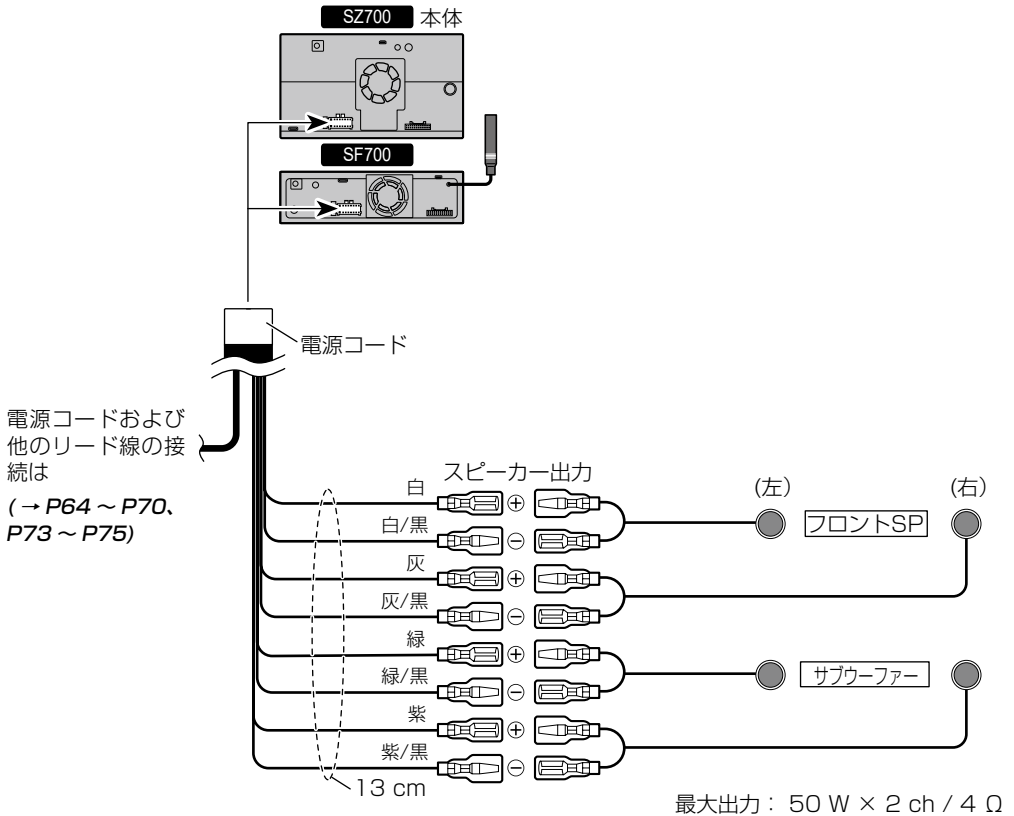


システムリモートコントロール

STD	:スピーカーモード設定がスタンダードモードのとき
NW	:スピーカーモード設定がネットワークモードのとき

リアスピーカー出力にサブウーファーを接続する①

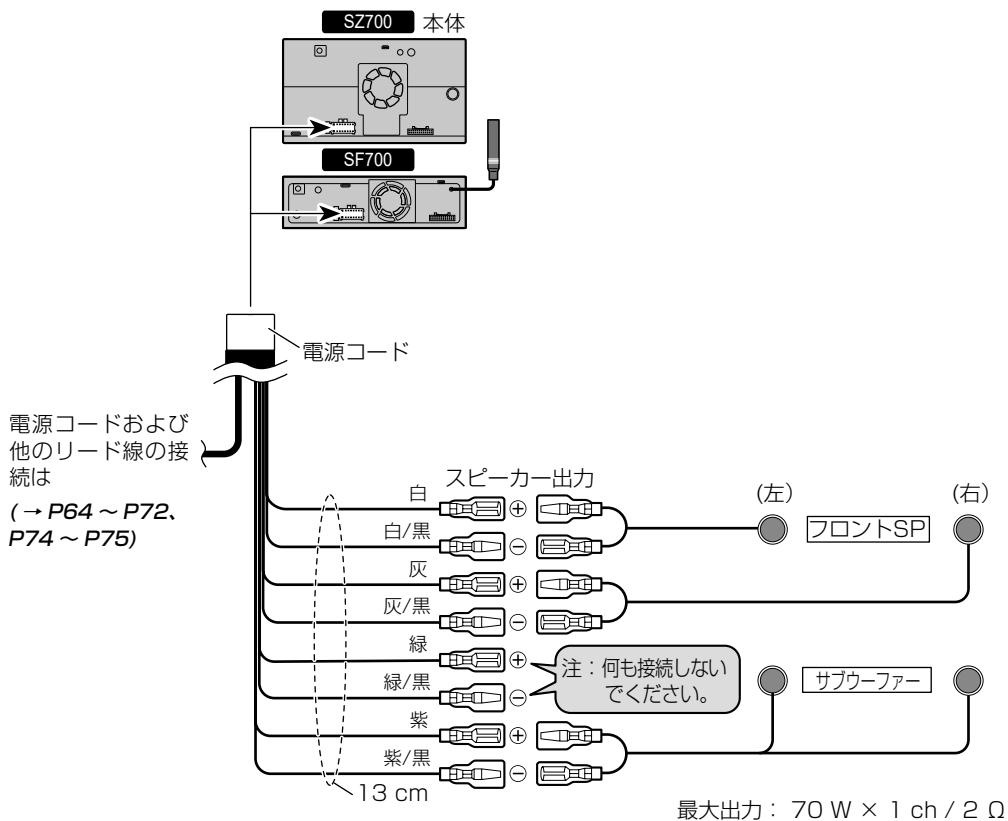
- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 上記の接続例は、4 Ωのサブウーファー 2 個を 2 ch/4 Ωとして使用しています。
- 本機のリアスピーカー端子にサブウーファーを接続したときは、オーディオ設定メニューのリアスピーカー出力を「サブウーファー」に設定してください(→ P60)。また、オーディオ設定メニューのサブウーファーのオン/オフの設定を[オン]に設定してください(→ P59)。

リアスピーカー出力にサブウーファーを接続する②

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

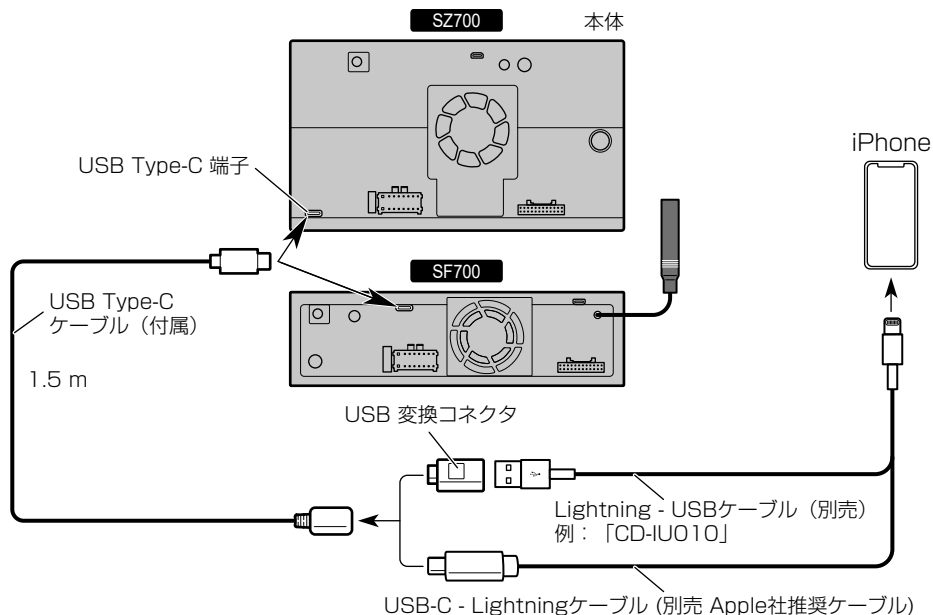


- 上記の接続例は、4 Ωのサブウーファー2個を並列接続して1 ch/2 Ωとして使用しています。
- 本機のリアスピーカー端子にサブウーファーを接続したときは、オーディオ設定メニューのリアスピーカー出力を「サブウーファー」に設定してください(→ P60)。また、オーディオ設定メニューのサブウーファーのオン/オフの設定を[オン]に設定してください(→ P59)。

iPhone・スマートフォンの接続

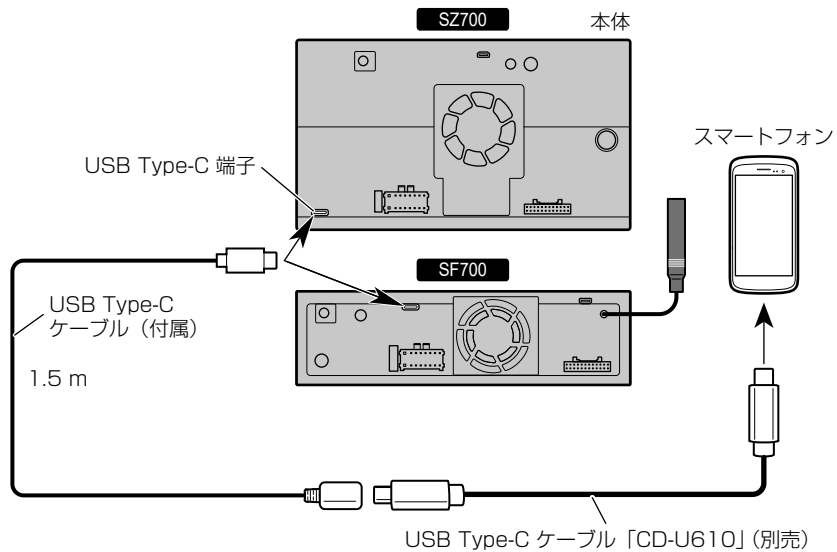
- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ iPhone を接続する場合



- Apple社製の Lightning - USB Type-Cケーブル (別売) を使って USB Power Delivery (USB PD) に対応している iPhone と本機を接続すると、iPhone へ急速充電が可能になります。詳しくは、Apple社製の Lightning - USB Type-Cケーブル (別売) の説明書をお読みください。

■ スマートフォンを接続する場合

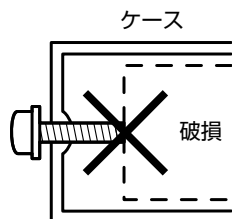


- USB Type-A ケーブルを接続する場合は、同梱の USB コネクタをお使いください。
- USB Type-C ケーブル「CD-U610」(別売) を使う場合、本機からスマートフォンへ急速充電が可能になります。
- イラスト内のケーブル以外を使用の場合、本機は本来の性能を発揮しない可能性があります。

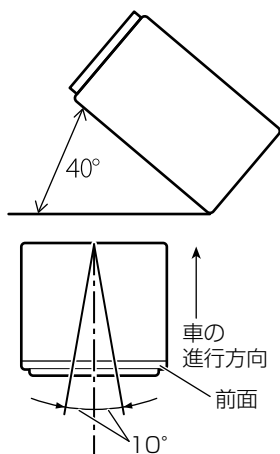
取り付けの前に知ってほしいこと

■取り付け上のご注意

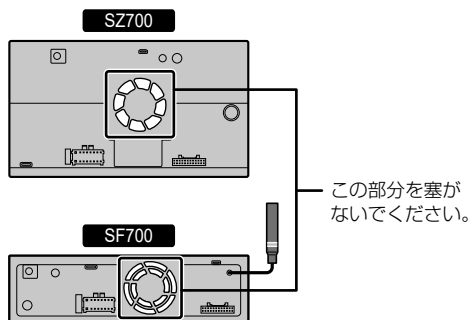
- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できず外れたりして危険です。



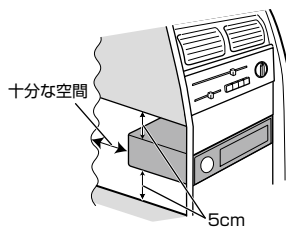
- 車種により製品取付の際に車両側の一部加工が必要となる場合があります。その場合加工後は加工した箇所の復元は出来ません。ご了承ください。詳しくは販売店様にご相談ください。
- 本機の性能を十分に発揮するために、できるだけ水平に取り付けてください。また、取り付ける車両の特性上、取り付け角度が傾いてしまう場合は、水平に対して上の傾き 40 度以内の角度で取り付けてください。左右の傾きは車の進行方向に対して本体の前面が 10 度以内の角度で取り付けてください。



- 放熱を妨げないために、下図の囲んだ部分を塞がないように配置してください。



- 取り付け時は、放熱をよくするために、機器の背面に十分な空間を確保してください。通風孔をふさぐことのないように、ケーブル類はまとめてください。



- 本機を車に取り付ける際に、本機を無理に押し込まないでください。HDMI 入力端子 (Type-D)、USB Type-C 端子を損傷する恐れがあります。

■取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けてください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

DMH-SF700 を取り付ける

DMH-SF700 は、ディスプレイ位置を調整して取り付けることができます。

ディスプレイは運転の妨げとならない位置に取り付けてください。

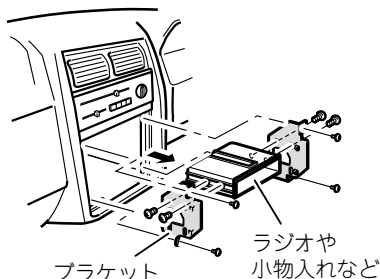
ディスプレイの取り付け位置は、取り付け前に「ディスプレイの角度と取り付け寸法」を参照してください。

- がたつきや飛び出し防止のため、市販の取り付けケースは使用しないでください。
- 本製品のディスプレイには飛散防止フィルムが貼られています。本フィルムを剥がしたり、別のフィルムを貼り付けたりすることはできません。また、本フィルムの縁に糊が付着している場合がありますが、ご使用上問題ありません。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

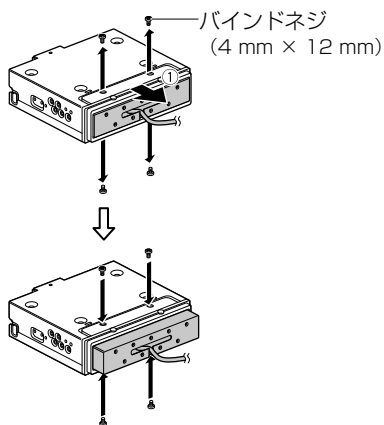
そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 本機の前側を引出したい場合は、以下の手順を行う

1. 本機のバインドネジ (4 mm × 12 mm) 4 本を取り外す。
2. 矢印①の方向へ引き出す。
3. 取り外したバインドネジ (4 mm × 12 mm) 4 本を使って、再び固定する。

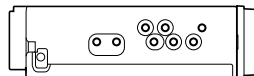


- 車両によっては、ディスプレイの取り付け位置を調整する必要があります。車両に取り付ける前に、フロントパネルの位置を調整してください。

3 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

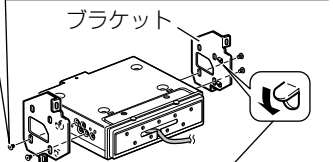
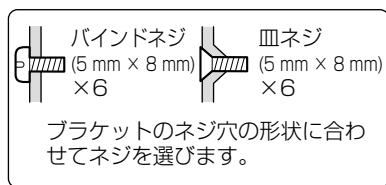
ブラケットにあったネジ穴を使用して取り付けてください。ネジ穴は下図を参照してください。



- 車種によっては、ネジ穴をずらして取り付け位置を調整できます。

4 ブラケットを付属のネジで取り付ける

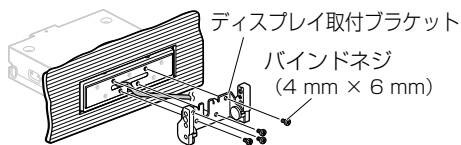
左側、右側、それぞれ 3 か所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



ツメがじゃまになるときは、折り曲げます。

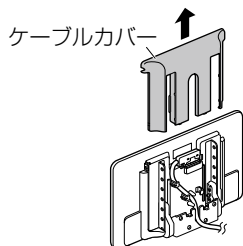
- 本機を車に取り付ける際に、本機を無理に押し込まないでください。
HDMI 入力端子 (Type-D)、USB Type-C 端子を損傷する恐れがあります。

5 ディスプレイ取付ブラケットをバインドネジ (4 mm × 6 mm) 4 本を使って取り付ける

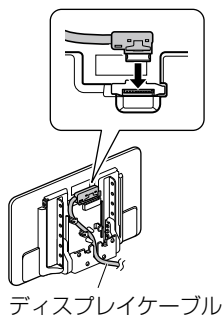


- ディスプレイ取付ブラケットの取り付け位置は、中央、左、右の3か所から選べます。
運転の妨げにならない位置に取り付けてください。

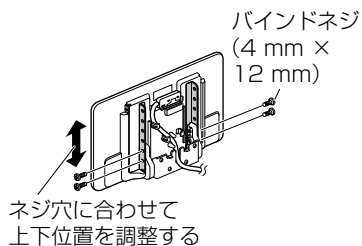
6 ディスプレイ背面から、ケーブルカバーを取り外す



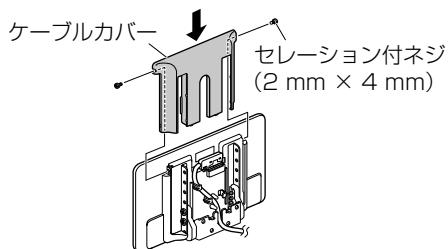
7 本体のディスプレイケーブルをディスプレイ背面のコネクタに接続する



8 ディスプレイの上下位置を調整し、バインドネジ (4 mm × 12 mm) 4 本で固定する



9 セレーション付ネジ (2 mm × 4 mm) 2 本を使って、ディスプレイカバーをディスプレイに取り付ける



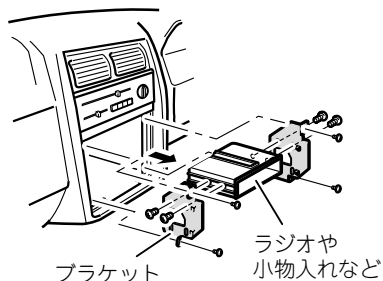
- ディスプレイカバーを取り付けるセレーション付ネジ (2 mm × 4 mm) は小さなネジである為、紛失にご注意ください。
- ディスプレイカバーの取り付け作業の際は、着磁したドライバーを使用することをお奨めします。
- ディスプレイカバーを取り付けるセレーション付ネジ (2 mm × 4 mm) は予備を 2 個同梱しております。紛失した場合にご使用ください。

DMH-SZ700 を取り付ける

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

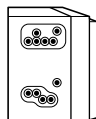


- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

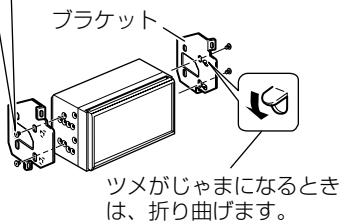
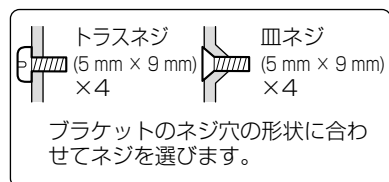
ブラケットにあったネジ穴を使用して取り付けてください。ネジ穴は下図を参照してください。



- 車種によっては、ネジ穴をずらして取り付け位置を調整できます。

3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。

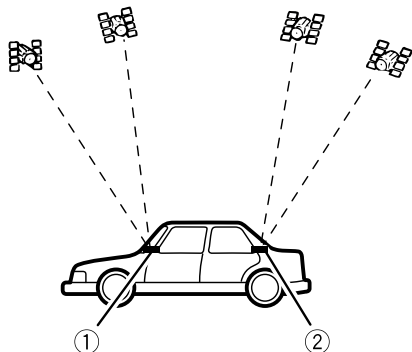


- 本機を車に取り付ける際に、本機を無理に押し込まないでください。HDMI 入力端子 (Type-D)、USB Type-C 端子を損傷する恐れがあります。

GPS アンテナを取り付ける

■取り付け上のご注意

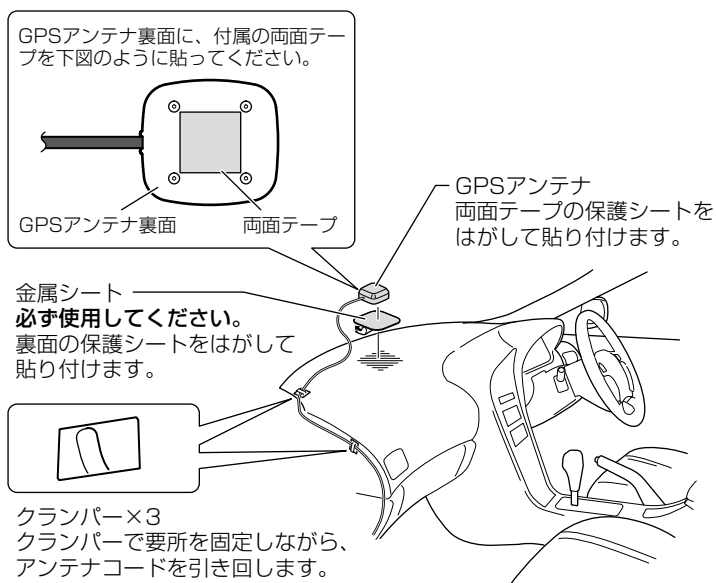
GPS アンテナは、ダッシュボード (①) またはリアシェルフ (②) 上に取り付けてください。



- 付属の GPS アンテナは車室内取付専用です。電波を通さないガラスを使用した車種の場合は、別売の GPS アンテナ (車室外取付用) をご使用ください。
- GPS アンテナは、ワイパーやピラーなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。
- GPS アンテナは、グローブボックス内などには設置しないでください。
- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPS アンテナの取り付けには、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。
- 付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPS アンテナは、本体から 30 cm 以上離して設置してください。また、余った GPS アンテナコードをまとめて置くときも、本体から 30 cm 以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下する場合があります。
- GPS アンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。コードが抜けてしまうことがあります。

■取り付け例 (ダッシュボード上)

車室内のなるべく水平な場所で、アンテナがウィンドウの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPS アンテナを金属シートの上に貼り付けます。GPS アンテナの接続状態と受信状態を確認することができます (→ P53)。



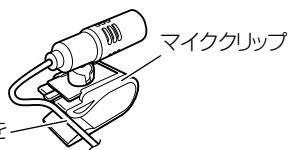
ハンズフリー通話用マイクを取り付ける

■ 取り付け上のご注意

- ・ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。
- ・マイクコードの配線の引き回しによっては、長さが足りずサンバイザーへの取り付けができない場合があります。その場合は、配線の引き回し位置を変えて取り付けてください。

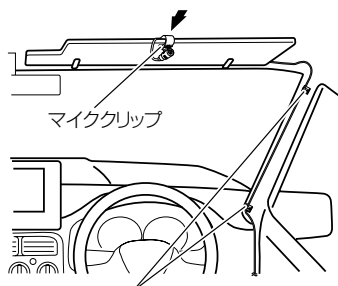
■ サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップの溝にマイクコードを埋め込む



2 サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、通話相手側へ音声が届きにくくなります。

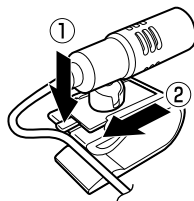


市販のクランパーなどで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

■ ステアリングポストに取り付ける場合

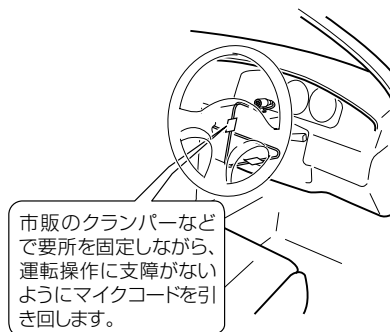
1 マイククリップを取り外す

ステアリングポストに取り付ける場合は、マイククリップを取り外します。



2 ステアリングポストにマイクを取り付ける

ステアリングポストに付属の両面テープで貼り付けます。



■ マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイクの可動部を矢印の方向に動かして調節します。



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける

3 本機の動作を確認する

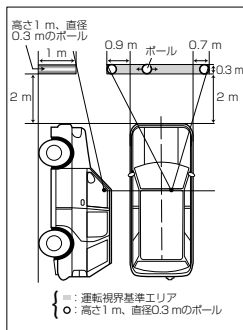
ディスプレイの角度と取り付け寸法 (SF700)

本機のディスプレイは角度を調整できます。ディスプレイを取り付けるときは運転を妨げないよう、位置を調整してください。

- ディスプレイは、以下の位置には取り付けしないでください。
走行中の視界や操作、各種メーター類の視認に支障があると交通事故の原因になります。
 - 前方視界を妨げる位置
 - 直前側方視界を妨げる位置
 - ディスプレイに関しては運転中の視線移動が多い位置
 - ハンドルや各種レバー（シフトレバー、ワイパーレバー、ウィンカーレバー等）操作や動作の妨げになる位置
 - エアバックの作動を損なう位置
 - ハザードスイッチ操作の妨げになる位置
 - その他のコントロールスイッチ操作の妨げになる位置
 - 各種メーター、計器、警告表示が視認できない位置
 - 各種スイッチ、各種パネル、グローブボックス、カップホルダーなど車室内の装備に干渉する場所
- 前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けると、道路運送車両の保安基準*に適合せず車検に通らなかつたり整備不良の対象となる場合があります。
 - *保安基準とは、道路運送車両の保安基準第21条、第44条、及び細目を定める告示第183条、第224条をいいます。
- 車両によってはディスプレイが、グローブボックス、カップホルダーに干渉したり、エアコン吹き出し口を塞ぐ場合がありますので、ご注意ください。
- ディスプレイを取り付けるときには、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。

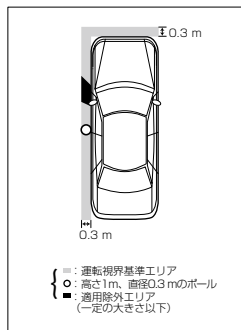
前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接確認できるように取り付けてください。



直前側方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取り付けてください。

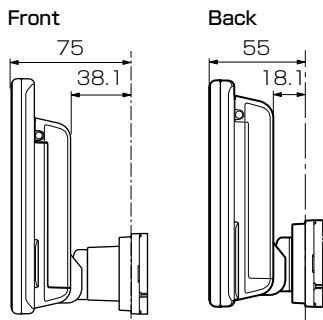


注意

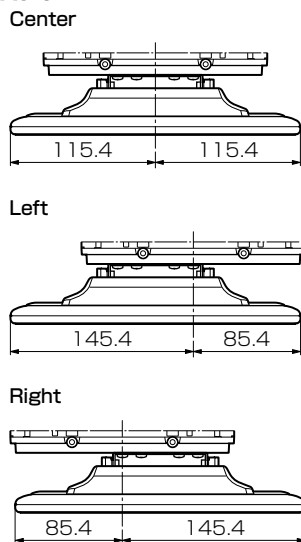
いずれの基準も左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

■ディスプレイ取り付け寸法・調整可能な位置

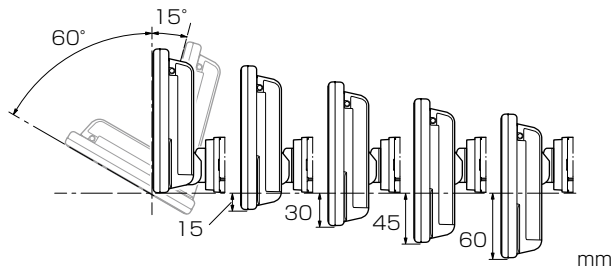
前後位置



左右位置



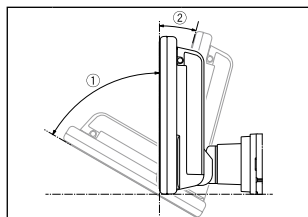
■ディスプレイ角度と上下位置



- 角度を調整するときは、指を挟まないように注意してください。特にお子様にはご注意ください。
- 上下・前後位置に応じて、調整できない角度があります。詳細については、「ディスプレイの角度調整範囲」を参照してください (→ P84)。

■ ディスプレイの角度調整範囲

正面角度



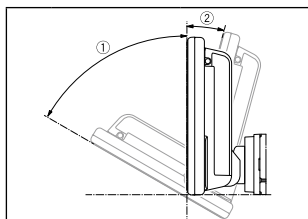
	①	②
0	60°	-15°
-15 mm	35°	
-30 mm		
-45 mm		
-60 mm		

単位 : mm

	A	A'	B	B'	C	A	A'	B	B'	C	A	A'	B	B'	C
0	50.6	152.6	-14.8	39.4	33.4	94.6	128.4	-12.5	53.4	35.9	134.1	38.6	7.7	72.4	14.3
-15						82.3	119.8	-24.8	44.8	27.3	119.6	42.5	-6.8	76.3	18.2
-30						70.1	111.2	-37.1	36.2	18.7	105.1	46.3	-21.2	80.2	22.1
-45						57.8	102.6	-49.4	27.6	10.1	90.6	50.2	-35.7	84.1	26.0
-60						45.5	94.0	-61.7	19.0	1.5	76.1	54.1	-50.2	88.0	29.9

単位 : mm

背面角度



	①	②
0	60°	-15°
-15	25°	
-30		
-45		
-60		

単位 :mm

	A	A'	B	B'	C	A	A'	B	B'	C	A	A'	B	B'	C
0	50.6	132.6	-14.8	19.4	13.4	108.6	93.8	-9.9	38.5	16.7	134.1	18.6	7.7	52.4	-5.7
-15						95.0	87.5	-23.5	32.2	10.4	119.6	22.5	-6.8	56.3	-1.8
-30						81.4	81.1	-37.1	25.8	4.1	105.1	26.3	-21.2	60.2	2.1
-45						67.8	74.8	-50.7	19.5	-2.3	90.6	30.2	-35.7	64.1	6.0
-60						54.2	68.4	-64.3	13.2	-8.6	76.1	34.1	-50.2	68.0	9.9

単位 :mm



- 空白欄の角度での調整はできません。
- 上記の可動範囲は本機として可能な可動範囲です。可動範囲は車両によって異なります。

再生可能なメディアとファイルについて

本機では、次の条件に合ったファイルを再生することができます。

フォーマット	拡張子	対応メディア	
		USB (MSC 接続)	USB (MTP 接続)
MP3	.mp3	○	○
WMA	.wma	○	○
WAV	.wav	○	×
AAC	.m4a	○	○
FLAC	.flac	○	×
DSD	.dff/.dsf	○	×
MPEG-4	.mp4/.mkv/.mov/.m4v/ .ts/.m2ts/.mts	○	×
	.avi	○	×
MPEG-2	.mpg/.mpeg	○	×
	.ts/.m2ts/.mts	○	×
DivX	.divx	○	×
	.avi	○	×
H.264	.mp4/.mkv/.mov/.flv/.avi/.m4v/ .ts/.m2ts/.mts	○	×
H.263	.mp4/.mov/.avi/.m4v/.3gp	○	×
VC-1	.wmv/.asf/.mkv	○	×
JPEG	.jpg/.jpeg/.jpe	○	×
PNG	.png	○	×
BMP	.bmp	○	×

■ 共通

ファイルシステム	FAT32 NTFS
最大フォルダー数	1 500
最大ファイル数	15 000

■ MP3(音声ファイル)

拡張子	.mp3
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR)/VBR
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz
ID3 タグ	Ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4

■ DSD64/DSD128

拡張子	.dff/.dsf
サンプリング周波数	DSD64 : 28822.4kHz DSD128 : 5644.8kHz
量子化ビット数	1 bit

■ WMA(音声ファイル)

拡張子	.wma
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR)/VBR
サンプリング周波数	32 kHz ~ 48 kHz

■ WAV(音声ファイル)

拡張子	.wav
シグナルフォーマット	リニア PCM (LPCM)
量子化ビット数	8bit/16bit/24bit/32bit(intのみ)
サンプリング周波数	16 kHz ~ 192 kHz

■ AAC(音声ファイル)

拡張子	.m4a
ビットレート	16 kbps ~ 320 kbps (CBR)
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz



・ iTunes でエンコードされた AAC ファイルを再生できます。

■ FLAC(音声ファイル)

拡張子	.flac
量子化ビット数	8bit/16bit/24bit
サンプリング周波数	8 kHz ~ 192 kHz

■ MPEG-4 (動画ファイル)

拡張子	.mp4/.mkv/.mov/.avi/.m4v/ .ts/.m2ts/.mts
最大解像度	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	40 Mbps

■ MPEG-2 (動画ファイル)

拡張子	.mpg/.mpeg/.ts/.m2ts/.mts
最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	40 Mbps

■ DivX (動画ファイル)

拡張子	.avi/.divx
最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	40 Mbps

■ H.264 (動画ファイル)

拡張子	.mp4/.mkv/.mov/.flv/.avi/.m4v/ .ts/.m2ts/.mts
最大解像度	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	40 Mbps

■ H.263 (動画ファイル)

拡張子	.mp4/.mov/.avi/.m4v/.3gp
最大解像度	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	20 Mbps

■ VC-1 (動画ファイル)

拡張子	.wmv/.asf/.mkv
最大解像度	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	45 Mbps

■ JPEG (静止画ファイル)

拡張子	.jpg/.jpeg/.jpe
最大解像度	8 192 ピクセル × 7 680 ピクセル

■ PNG (静止画ファイル)

拡張子	.png
最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル

■ BMP (静止画ファイル)

拡張子	.bmp
最大解像度	1 920 ピクセル × 936 ピクセル

MP3 とは? 「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10 のサイズに圧縮できます。

WMA とは? 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7 以降を使用してエンコードできます。

WAV とは? 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

AAC とは? 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

FLAC とは? 「Free Lossless Audio Codec」の略で、オープンソースとして開発された音声フォーマットです。MP3 や AAC と異なり、可逆圧縮であるため、音質を劣化させることなく圧縮できます。

MPEG とは? 「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムベグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。

DivX とは? DivX® は、DivX, LLC. が開発したデジタルビデオフォーマットです。DivX Home Theater Certified デバイスは、高画質な DivX Home Theater 動画再生 (.avi .divx) のテストを受けています。DivX のロゴは、お気に入りの動画を自由に再生できるという安心の証です。

JPEG とは? 「Joint Photographic Expert Group」の略で、画像圧縮技術に関する基本フォーマットです。

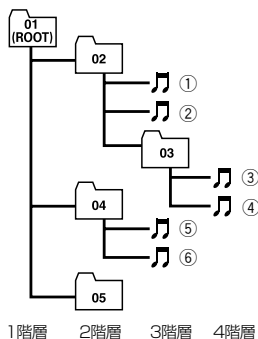
※サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。



- ファイルをエンコードしたアプリによっては、正常に動作しないことがあります。
- ファイルをエンコードしたアプリによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- この製品は、以下の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice
- ID3 tag の Ver.1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。ID3 タグの環境によっては正常に表示されない場合があります。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- iTunes Store で購入された楽曲 (.m4p) は、USB 機器に記録して再生できません。
- パーティションを作った USB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- 本機は、次の形式には対応していません。
 - Apple ロスレス・エンコーダ
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- DivX Ultra と DivX plus HD format には対応していません。
- 映像データが収録されていないファイルは、DivX ファイルと認識できません。
- DivX ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
- DivX のパートナーサイト以外からダウンロードした DivX ファイルの再生は保証していません。
- 本機では、最大で 8 時間までのファイルの表示に対応しています。
- 2 GB を超える音楽ファイル、16GB を超える動画ファイルは、再生しない場合があります。

■ メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります（USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります）。



- 01～05 はフォルダー番号の割り当て、①～⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、USB メモリーに書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 1. コンピューターで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
 3. フォルダー単位でメディアにコピーする。ただしコンピューターの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。

- 対応した音楽ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの音楽ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下の通りです。
 - USB：最大 1 500 フォルダー、最大 15 000 ファイル

■ JPEG ファイルについて

解像度が 8 192 ピクセル × 7 680 ピクセルまでのベースライン JPEG と、EXIF2.1 に対応しています（EXIF 形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です）。

- コンピューターで加工された EXIF ファイルは、再生できないことがあります。
- プログレッシブ JPEG の再生には対応していません。

USB 機器について

- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■ 本機との接続について

- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外（USB 扇風機など）は接続しないでください。
- USB 機器を本機に接続する際は、付属の USB 延長ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USB ハブを使用しての接続には対応していません。

■ 保管上のご注意

- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPhone について

■ 本機が対応する iPhone

- 本機は以下の iPhone に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。
 - iPhone XR
 - iPhone XS Max
 - iPhone XS
 - iPhone X
 - iPhone 8
 - iPhone 8 Plus
 - iPhone 7
 - iPhone 7 Plus
 - iPhone SE
 - iPhone 6s
 - iPhone 6s Plus
 - iPhone 6
 - iPhone 6 Plus
 - iPhone 5s
- 最新の情報についてはカロッツェリアホームページ (<https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/ipod.html>) でご確認ください。
- 操作方法は、iPhone の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPhone を接続するには、Lightning ケーブルー USB 変換ケーブル（例：「CD-IU010」）が必要です。



- iPhone は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPhone を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPhone は必ず固定してください。iPhone が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPhone の取り扱いについて詳しくは、iPhone の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときに iPhone のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

液晶画面の正しい使いかた

■ 取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障するおそれがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障するおそれがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

■ 液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

■ LED バックライトについて

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED 保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LED バックライトの寿命は 1 万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。

■ お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること。
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声かとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - 防災報知機・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）
 - 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
 - 自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）
 - アマチュア無線局など

2.4 DS/OF/FH/XX 4

2.4 DS/OF/FH/XX 4

① ② ③

- 「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- 「DS」、「OF」、「FH」、「XX」変調方式を表します。
- 「4」想定される与干渉距離（約 40 m）を表します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(→P97)をお読みになり、修理を依頼してください。DMH-SF700を修理依頼いただく場合は、モニターと本体を一緒にお出してください。

■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください(→P62～75)。
	ヒューズが切れている。	切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください(→P66)。
電源を入れると、バックカメラの映像が表示される。 車のシフトレバーをバックに入るとバックカメラの映像が消える。	バックカメラの極性が合っていない。	システム設定の「バックカメラ極性設定」を[Low]に設定してください(→P49)。
音が出ない。	音量を下げている。	音量を調節してください(→P10)。
	ミュートがONになっている。	ミュートを解除してください(→P10)。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→P10)。
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください(→P62～75)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→P56)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→P56)。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください(→P68)。
	パーキングブレーキをかけていない。	
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	キー操作が無効な操作をしている。	この操作はできません。
音や映像が途切れる。	本機が確実に固定されていない。	本機を確実に固定してください。
画面が伸びる、アスペクト比が合わない。	モニターに対する設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。

■ ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください (→ P34)。
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください (→ P34)。
	周りに障害物があるなど、受信状態がよくない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください (→ P34)。
ラジオが受信できない。 FM は受信するが、AM が受信できない。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください (→ P66)。
受信感度が悪い。	自動車のアンテナがのびていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。

■ USB

症状	原因	処置
USB を認識しない。	<ul style="list-style-type: none">設定が正しくない。接続するケーブルや USB 変換コネクタが正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none">お使いになる USB 機器側で MTP 接続モードへ切り換えてください。モードの切り換え方法については、お使いになる USB 機器の説明書をご覧ください。接続するケーブルや USB 変換コネクタの接続状態を確認してください。
ファイルを再生できない。	ファイルに正しい拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	ファイルに正しい拡張子を付けてください (→ P86)。 対応しているビットレートで記録されたファイルにしてください (→ P86)。
聴きたいファイルが見つからない。 ミュージックブラウザモード中のランダム再生が解除される。	ファイルに正しい拡張子が付いていない。 エンジンスイッチを OFF にするとミュージックブラウザモードは解除されます。	ファイルに正しい拡張子を付けてください (→ P86)。 ミュージックブラウザモードが解除されてしまった場合は、曲のリストで Tag にタッチしてから曲を選ぶと再びミュージックブラウザモードになります (→ P37)。

■ iPhone

症状	原因	処置
再生できない。	接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルを外し、iPhone 画面にメインメニュー表示がされていることを確認後、もう一度接続してください (→ P74)。
	本機で対応していない iPhone を使用している。	本機で対応している iPhone を使用してください (→ P91)。

■ Bluetooth

症状	原因	処置
Bluetooth で接続できない。	Bluetooth 機器登録をしていない。	接続したい機器を本機に機器登録してください。
	接続する機器を変えた。	接続したい機器に切りかえてください。
音が出ない。	Bluetooth Audio 機器側の音量が小さい。	Bluetooth Audio 機器側の音量を上げてください。

こんなメッセージが表示されたら

■ 共通項目

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
AMP Error	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチをオフ→オンしてもメッセージが消えない場合は、販売店またはバイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
Product overheat. System will be shut down automatically in 1 minute. Restart the product by ACC-Off/On may fix this problem. If this message keeps showing up, it is possible that some problem occurred in the product.	本機の温度が高くなっているとき。	本機の温度が下がるまで、エンジンスイッチを OFF (ACC オフ) にしてください。

■ USB 機器

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
再生できないファイルです	ファイルが本機で再生できないとき。	本機で再生できるファイルに切りかえてください。
	曲が入っていないとき。	オーディオファイルを USB 機器に転送し、本機に接続してください。
	セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続したとき。	USB メモリーの説明書にしたがって、セキュリティーを解除してから使用してください。
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
再生できない USB です	接続された USB 機器が本機に対応していないとき。	USB Mass Storage Class 対応の、USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB メモリーを接続してください。
	接続された USB 機器のフォーマットが、FAT16、FAT32、NTFS でないとき。	フォーマットが FAT16、FAT32、NTFS の USB 機器を接続してください。

USBを確認してください	USBコネクタまたはUSB延長ケーブルがショートしたとき。	USBコネクタまたはUSB延長ケーブルが破損していないか確認してください。
	規定以上の電流を消費するUSB機器を接続したとき。	接続したUSB機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。次に、対応するUSB機器を接続してください。
再生できない音声です	ファイルタイプが本機に対応していないとき。	本機で再生できるファイルに切りかえてください。
作成されたデータベースが無効です	データベース構築中に、ビデオメディアやJPEG画像表示に切りかえたとき。	もう一度データベースを作成してください(→P37)。

■ iPhone

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が始まるまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
iPhoneとの通信にエラーが発生しました。 ケーブルを再接続してください。	正常に通信できないとき。	コネクタを一度外し、iPhoneのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPhoneが正常に動作しない場合は、iPhoneをリセットしてください。
	iPhoneに問題が発生したとき。	コネクタを一度外し、iPhoneのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPhoneが正常に動作しない場合は、iPhoneをリセットしてください。
操作を続行できません。 iPodソースを終了しますか?	iPhoneのソフトウェアバージョンが古いとき。	iPhoneのソフトウェアバージョンをアップデートしてください(→P91)。
停止	曲が入っていないとき。	iPhoneに曲を転送し、本機に接続してください。
見つかりません	検索した曲が見つからないとき。	iPhoneに曲を転送し、本機に接続してください。

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります）。

なお、DMH-SF700を修理にお出しいただく場合は、モニターと本体を一緒にお出しください。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）。

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標・著作権など

本機は、電波法に基づく工事設計認証を取得した特定無線設備を使用しています。

WML-C95

SF700



007-AH0260

SZ700



007-AH0253

Bluetooth



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

USB Type-C

USB Type-C® と USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。

HDMI



HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

Wi-Fi

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

Wi-Fi Protected Setup™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。



Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴおよび Wi-Fi Protected Setup™ ロゴは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

T-Kernel 2.0

This Product uses the Source Code of T-Kernel 2.0 under T-License 2.2 granted by TRON Forum (www.tron.org).

FLAC について

Copyright © 2000-2009 Josh Coalson

Copyright © 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



DivX®, DivX Certified®, 関連ロゴは、DivX, LLC の商標であり、使用には許可が必要です。

この DivX Certified® デバイスは、最大 576p の DivX-Home Theater® 動画ファイル (.avi, .divx) を再生できます。DivX のソフトウェアを無料でお試しくささい。www.divx.com よりダウンロードして、デジタル動画の作成、再生、ストリーミングをお楽しみくささい。

Google、Android、Google Play

Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

Android Auto

androidauto

Android Auto は Google LLC の商標です。

iPhone、Siri、Lightning



Apple、Apple のロゴ、iPhone、Siri および Lightning は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。日本における iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Made for Apple バッジの使用は、バッジ内に記してある Apple 製品に接続するよう設計され、Apple が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。

Apple は、本製品の機能や安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリを Apple 製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますので注意下さい。

Siri はマイクを通して機能します。

App Store

App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービスマークです。

Apple、Apple のロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

iOS

iOS は米国その他の国における Cisco の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Apple Music

Apple Music は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

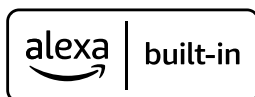
Apple CarPlay



Apple CarPlay は、米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Apple CarPlay ロゴの使用は、車両のユーザーインターフェースが、Apple が定める性能基準を満たしていることを示します。Apple は、車両の操作や安全および規制基準への準拠について一切の責任を負いません。本製品を iPhone や iPod と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

Amazon, Alexa, Kindle, Audible, Echo, Amazon Music および関連ロゴ



Amazon, Alexa, Kindle, Audible, Echo, Amazon Music、及びこれらに関連するすべての商標は、Amazon.com, Inc. 又はその関連会社の商標です。

Gracenote



Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

LDAC™



LDAC and LDAC logo are trademarks of Sony Corporation.

DOLBY®

ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。





ハイレゾ品質で音楽を聴くにはプレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

Hi-Res Audio ロゴ、Hi-Res Audio Wireless ロゴは、日本オーディオ協会の登録商標、または商標です。ライセンスに基づいて使用されています。

当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。

QR コード

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは 4 : 3 ですが、ワイドモニターは 16 : 9 の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

ビットレート

1 秒あたりの情報量を表し、単位は bps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります (異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません)。

EXIF

「Exchangeable Image File Format」の略です。富士フィルムが提唱した、デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。各社のデジタルカメラでの標準仕様として採用されています。画像データだけでなく、縮小画像 (サムネイル) や、画像についての情報、撮影日時などの付加情報を記録できます。

ID3 Tag

曲の関連情報を MP3 ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は ID3 Tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

VBR

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的には CBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

仕様

SF700

■ 共通部

使用電源： DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式： マイナスアース方式

最大消費電流： 10.0 A

外形寸法

(取付寸法) : 178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm

(ノーズ寸法) : 170 (W) mm × 46 (H) mm × 7.5 (D) mm

(ディスプレイ) : 231 (W) mm × 131 (H) mm × 37 (D) mm

質量 (本体) : 1.4 kg (コード含まず)

(ディスプレイ) 0.7 kg

■ モニター部

画面サイズ： 9 型ワイドモニター

アスペクト比： 16 : 9

有効表示面積： 198.72 mm × 111.78 mm

画素数： 1 280(水平) × 720(垂直) × 3(RGB)

方式： TFT アクティブマトリクス方式

カラーシステム： PAL / NTSC / PAL-M / PAL-N / SECAM 互換

使用温度範囲 - 10°C ~ + 60°C

SZ700

■ 共通部

使用電源： DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式： マイナスアース方式

最大消費電流： 10.0 A

外形寸法

(取付寸法) : 178 (W) mm × 100 (H) mm × 87 (D) mm

(ノーズ寸法) : 171 (W) mm × 97 (H) mm × 3 (D) mm

質量： 0.9 kg (コード含まず)

■ モニター部

画面サイズ： 6.78 型ワイドモニター

アスペクト比： 16 : 9

有効表示面積： 152.4 mm × 80.208 mm

画素数： 800(水平) × 480(垂直) × 3(RGB)

方式： TFT アクティブマトリクス方式

カラーシステム： PAL / NTSC / PAL-M / PAL-N / SECAM 互換

使用温度範囲 - 10°C ~ + 60°C

■ アンプ / オーディオ部

最大出力：

- 50 W × 4 ch
- 50 W × 2 ch / 4 Ω +
70 W × 1 ch / 2 Ω (サブウーファー使用時)

定格出力： 22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD, 4Ω LOAD, Both Channels Driven)

負荷インピーダンス： 4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω (2 Ω × 1ch) 使用可能)

プリアウト最大出力： 4.0 V

イコライザー (13 バンドグラフィックイコライザー)：

周波数： 50 Hz / 80 Hz / 125 Hz / 200 Hz / 315 Hz / 500 Hz / 800 Hz / 1.25 kHz /
2 kHz / 3.15 kHz / 5 kHz / 8 kHz / 12.5 kHz

調整幅： ± 12 dB (2 dB / step)

<スタンダードモード>

ハイパスフィルター

ON / OFF

周波数 : 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct

ローパスフィルター (サブウーファー)

ON / OFF

周波数 : 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct, -30 dB / oct, -36 dB / oct

位相 : NORMAL / REVERSE

スピーカーレベル -24 dB ~ +10 dB (1 dB/step)

タイムアライメント 0 ~ 490 cm (1.4 cm / step)

<ネットワークモード>

ハイパスフィルター (HIGH)

周波数 : 1.25 kHz / 1.6 kHz / 2 kHz / 2.5 kHz / 3.15 kHz / 4 kHz / 5 kHz / 6.3 kHz / 8 kHz / 10 kHz / 12.5 kHz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct

位相 (HIGH) : NORMAL / REVERSE

ハイパスフィルター (MID)

ON / OFF

周波数 : 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct

ローパスフィルター (MID)

ON / OFF

周波数 : 1.25 kHz / 1.6 kHz / 2 kHz / 2.5 kHz / 3.15 kHz / 4 kHz / 5 kHz / 6.3 kHz / 8 kHz / 10 kHz / 12.5 kHz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct

位相 (MID) : NORMAL / REVERSE

ローパスフィルター (サブウーファー)

ON / OFF

周波数 : 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct, -30 dB / oct, -36 dB / oct

位相 (サブウーファー) : NORMAL / REVERSE

スピーカーレベル -24 dB ~ +10 dB (1 dB/step)

タイムアライメント 0 ~ 490 cm (1.4 cm / step)

■ USB 部

USB 規格 : USB 1.1、USB 2.0 Full Speed
USB 2.0 High Speed

最大供給電流 : 3.0 A

USB クラス : MSC (Mass Storage Class)、MTP (Media Transfer Protocol)

ファイルシステム : FAT16、FAT32、NTFS

<オーディオ>

MP3 デコーディング

フォーマット : MPEG-1 & MPEG-2 & MPEG-2.5 AUDIO LAYER-3

WMA デコーディング

フォーマット : Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12 (2 ch オーディオ) (Windows Media Player)

AAC デコーディング

フォーマット : MPEG-4 AAC (Ver. 12.5 以前の iTunes でエンコードされたもののみ)

FLAC デコーディングフォーマット (MSC モードのみ)

WAVE シグナル

フォーマット

(MSC モードのみ) : Linear PCM

サンプリング周波数 : 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 96 kHz / 192 kHz

DSD64・DSD128 フォーマット (MSC モードのみ)

<フォト>

JPEG デコーディング

フォーマット (MSC

モードのみ) : .jpeg, .jpg, .jpe

ピクセルサンプリング: 4:2:2, 4:2:0

デコードサイズ: 最大: 7 680 (H) × 8 192 (W)

最小: 32 (H) × 32 (W)

PNG デコーディング

フォーマット (MSC

モードのみ) : .png

デコードサイズ: 最大: 576 (H) × 720 (W)

最小: 32 (H) × 32 (W)

BMP デコーディング

フォーマット (MSC

モードのみ) : .bmp

デコードサイズ: 最大: 936 (H) × 1 920 (W)

最小: 32 (H) × 32 (W)

<ビデオ>

H.264 ビデオデコーディング

フォーマット: Base Line Profile, Main Profile, High Profile

H.263 ビデオデコーディング

フォーマット: Baseline Profile 0/3

VC-1 ビデオデコーディング

フォーマット: Simple Profile, Main Profile, Advanced Profile

DivX:

Home theater

MPEG4 ビデオデコーディング

フォーマット: Simple Profile, Advanced Simple Profile

MPEG2 ビデオデコーディング

フォーマット: Main Profile

■ FM チューナー部

受信周波数帯域: 76.0 MHz ~ 99.0 MHz

実用感度: 12 dBf (1.1 μ V/75 Ω 、モノラル、S/N: 30 dB)

S/N: 65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ AM チューナー部

受信周波数帯域: 522 kHz ~ 1 629 kHz

実用感度: 25 μ V (S/N: 20 dB)

S/N: 60 dB (IHF-A ネットワーク)

■ Bluetooth 部

Bluetooth バージョン: Bluetooth 4.2 certified

出力: 最大 +4 dBm (Power class 2)

Bluetooth Low

Energy 出力: 最大 +3.5 dBm

周波数帯域: 2 402 MHz ~ 2 480 MHz

プロファイル:

- HFP (Hands Free Profile) 1.7
- PBAP (Phone Book Access Profile) 1.2
- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 1.3
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) 1.6.1
- SPP (Serial Port Profile) 1.2
- AVCTP (Audio/Video Control Transport Protocol) 1.4
- AVDTP (Audio/Video Distribution Transport Protocol) 1.3
- DID (Device ID Profile) 1.3
- GAVDP (Generic Audio/Video Distribution Profile) 1.3
- IOP (Interoperability Test Specification)
- OPP (Object Push Profile)
- RFCOMM (RFCOMM with TS 07.10) 1.2

■ Wi-Fi 部


対応規格:	IEEE 802.11 b/g/n (2.4 GHz)
対応チャンネル:	1 ~ 11 ch (2.4 GHz)
出力:	最大 + 16 dBm (2.4 GHz)
セキュリティ方式:	OPEN / WEP / WPA (Personal) / WPA2 (Personal)

■ GPS 部

レセプションシステム:	72-チャンネル マルチ チャンネル レセプションシステム
アンテナサイズ:	33 mm (W) × 14.7 mm (H) × 36 mm (D)

■ 付属品

コードユニット:	1 式
RCA ケーブル:	1 式
取付ネジ類:	1 式
ディスプレイ取付ブラケット (SF700 のみ):	1
USB 延長ケーブル:	1
USB 変換コネクタ:	1
GPS アンテナ:	1 式
ハンズフリー通話用 マイク:	1 式
リモコン:	1
リチウム電池 (CR2025):	1
取扱説明書:	1
保証書:	1

-  • 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載しているイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご活用ください。

■お客様サポートサイト

<https://pioneer.jp/rd/support/>



■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)

<https://pioneer.jp/rd/support/faq/>



■電話 《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》

※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】

0120-944-111(無料)

【携帯電話・PHSから】

050-3820-7540(IP電話・有料)

または 0570-037-600(ナビダイヤル・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報に関するご質問などはこちらの窓口で承っております

■ファックス

0570-037-602(ナビダイヤル・有料)

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

■修理受付サイト

受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/repair/>



■電話

【固定電話から】

0120-5-81028(無料)

【携帯電話・PHSから】

050-3820-7550(IP電話・有料)

または 0570-037-610(ナビダイヤル・有料)

■ファックス

0120-5-81029(無料)

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

■部品受注サイト

受付時間、FAXでのご注文はホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/parts/>



■電話

【固定電話から】

0120-5-81095(無料)

【携帯電話・PHSから】

050-3820-7551(IP電話・有料)

または 0570-057-140(ナビダイヤル・有料)

■ファックス

0120-5-81096(無料)

令和2年10月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.10

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

©パイオニア株式会社 2020

< CRA5360-C >